

官報

號外

明治二十八年一月二十七日 日曜日 內閣官報局

第八回衆議院議事速記録第十八號

明治二十八年一月二十六日(土曜日)午後一時十四分開議

議事日程 第十八號 明治二十八年一月二十六日 午後一時開議

- 第一 明治二十六年豫備金支出ノ件(政府提出)
- 第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第三 內務省所管諸官衙及議院建築費並竝後川修築費繰越ニ關スル法律案(政府提出)
- 第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第五 狩獵法案(貴族院提出)
- 第六 無效投票ニ關スル法律案
- 第七 古物商取締條例改正法律案
- 第八 明治二十三年法律第百二號刑法
- 第九 軍人家族扶助法案(高木正年君外三名提出)

議長(楠本正隆君) 諸君、例ニ依ッテ報告ヲ爲シマス

(林田書記官朗讀)

貴族院ニ於テ明治二十七年年度歳入歳出總豫算追加案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒アリタリ

齋藤良輔君ヨリ山林處分延滞ニ關スル件ニ付政府ヘ質問書ヲ提出セラレタリ

特別委員左ノ通り指名セリ

日本銀行課稅法案審査特別委員

- | | |
|------------------|---------|
| 東尾平太郎君 | 石田貫之助君 |
| 坪田仁兵衛君 | 田口卯吉君 |
| 河北勘七君 | 伊藤德太郎君 |
| 新井毫君 | 守屋此助君 |
| 鳩山和夫君 | |
| 酒造稅則中改正法律案審査特別委員 | |
| 山田嘉穀君 | 橋本平左衛門君 |
| 安田益太郎君 | 天笠伊左衛門君 |
| 和氣清太郎君 | 花木甚右衛門君 |
| 河野岩吉君 | 高橋小十郎君 |
| 伴直之助君 | |

郵便條例中改正法律案審査特別委員

- | | |
|--------|---------|
| 宮崎榮治君 | 廣瀬貞文君 |
| 谷澤龍藏君 | 石坂昌孝君 |
| 水島保太郎君 | 波多野傳三郎君 |
| 渡邊新太郎君 | 佐藤里治君 |
| 金尾稜嚴君 | |

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一 山林處分延滞ニ關スル質問書

一 開クカ如クハ農商務大臣ハ昨年中各府縣知事竝ニ大林區署長ニ内訓シテ木材ノ拂下等森林ノ處分ハ當分ノ内一切之ヲ見合スヘシト云フ抑モ山間ノ人民日常薪炭ノ如キ多クハ之ヲ官有森林ニ仰キ又建築用材ノ如キモ從來官民林ヨリ伐採搬出スル者ニ依リテ相場ノ平準ヲ保テリ然ルニ農商務大臣カ前顯内訓ヲ發シタル後ハ山間ノ人民ハ需用ニ缺乏ヲ告ケテ供給ノ途ニ苦ミ又木材ノ相場ハ漸ク騰貴ノ勢ヲ示セリ是レ常識アル者ノ容易ニ想像シ得ヘキ結果トス農商務大臣カ是等ノ結果ニ至ルヲ度外視シテ彼ノ内訓ヲ發シタルハ抑モ何等ノ理由アリテ然ル乎

二 山林ノ官民有區分ハ當時相當ノ規則ニ依リテ之ヲ舉行セリト雖モ誤調ニ依リテ官有ニ歸シタルモノ證據不分明ニ依リテ民有ニ編入セサルモノ及脱落ニ因リテ官民有未定ナルモノ少ナシトセシ是レ等ハ實跡舊證ニ依リテ固ヨリ民有ニ付スヘキモノニシテ政府モ亦從來實ニ其處分ヲナスニ咨ナラサリキ然ルニ二十六年以來農商務大臣ハ願件堆積シテ其數千餘ニ及フモ恬トシテ之ヲ顧ミス權利者ノ損害實ニ言フニ忍ヒサルナリ或ハ調査ノ爲メ處分延滞スト言ハシ乎主務局ニ就テ聞ク所ニ依レハ願件中ニハ二十三年頃提出シタルモノアリテ其調査ハ疾ク已ニ結了ヲ告ケ又其後ノ提出ニ係ルモノト雖モ吏員ヲ派シテ實地ヲ臨檢セシメ處分案已ニ成レルモノアリト云フ果シテ然ラハ農商務大臣ハ何等ノ理由アリテ此ノ如ク官民區別ノ處分ヲ延滞スル乎

山林處分延滞ニ關スル質問書

右成規ニ據リ提出候也

明治二十八年一月二十六日

提出者 齋藤良輔

贊成者 磯部十藏

外四十五名

議長(楠本正隆君) 是ヨリ會議ヲ開キマスル、請願委員長差支ニ附キ佐竹正詮君ヨリ報告ニナリマス——佐竹正詮君

(佐竹正詮君演壇ニ登ル)

○佐竹正詮君(百五十九番) 私ハ請願委員長ニ代ハリマシテ、一昨日二十四日ニ開キマシタ委員會ノ結果ヲ報告致シマス、一月二十四日委員會ニ掛リマ

シテ、則チ決議ヲ爲シマシタ請願ノ種類ハ十七種ニナツテ居リマシテ、則チ十九通デゴザリマス、其中ニ院議ニ付スベシト決議ヲ致シマシタモノハ一通モアリマセヌノデゴザイマスガ、則チ參考トシテ政府ニ回送スルコトニ決議ヲ致シマシタノガ六通ゴザイマシテ、又特別委員會ノ方ニ參考トシテ回送スルコトニ決議ヲ爲シマシタノガ、是モ六通ゴザイマシタ、其他ハ總テ院議ニ付スニ及バナシ、政府或ハ特別委員會ニモ回送スル必要ガナイト致シマシテゴザリマス、而シテ政府ニ於テ參考トシテ回送スルコトニ致シマシタ請願ハ、斐伊川土功經濟ヲ國庫ニ移スノ件一通、北海道鐵道線路ノ儀ニ附イテノ件、對魯貿易港ノ件、警備隊設置ノ件、信用組合法發布ノ件、地價低減ノ件、此六通ハ則チ政府ニ參考トシテ回送スルコトニ決議致シマシテゴザリマス、ソレカラ特別委員會ノ方ニ回送スルコトニ致シマシタノハ、海軍會議設置ニ關スル件三通、航海獎勵法制定ニ關スル件一通、開港場増設ノ件一通、普通海關稅法ノ制定ヲ希望スル件、蠶絲検査所設立ノ件一通、其他院議ニ付スルヲ要セザルモノト決議致シマシタノハ、町村制第十五條第二項第六及第十二條第七項追加ノ件、鐵道敷設ノ件、農馬取締上ノ件、古物商條例改正ノ件、市制特例廢止ノ件、恩給及遺族扶助料ノ件、是ダケデゴザイマス、以上ハ則チ一月二十四日ノ委員會ニ於キマシテ決議ヲ爲シマシタ結果デゴザリマス

○議長(楠本正隆君) 齋藤長輔君

(齋藤長輔君演壇ニ登ル)

○齋藤長輔君(百七十番) 私ガ山林處分延滞ニ關スル質問書ト云フモノヲ提出シマシタ、其理由ヲ聊カ御話シヤウト考ヘマス、其一ハ斯様ナ事デゴザリマス、明治二十三年四月三日ノ勅令ガゴザリマス、六十九號ノ勅令ガゴザリマス、其勅令ノアルニモ拘ラズ、農商務大臣ハ昨年三月ヲ以テ此勅令ノ執行ノ仕事ヲ當分見合セルト云フコトヲ府縣知事及大小林區ニ内訓ヲ致シタノデゴザイマス、ソレカラ二番目ニハ官林原野ノ誤調ニ依リマシテ、官有ニ取調ベタモノ、ソレカラ證據不分明ニ依ッテ官有ニ調ベタモノ、脱落ニ依ッテ官有未定ナルモノヲ官有ニ調ベタモノ、是等ガ唯今ニ至ッテモちつとも處分ガナイノデアル、此事件ニ對シテ件數ト云フモノハ實ニ堆積シテアルノデゴザリマス、其何等ノタメニ斯様ニシテ置クカト云フコトヲ質問スルノデゴザイマス、先キニ述ベマシタル所ノ農商務大臣ノ内訓ト云フモノガ、果シテ勅令ノ執行ヲ止ムル權利ガアルカ否ヤト云フコトハ、是ハ私ハ論ジマセヌ、實際上ニ涉リマシテ此内訓ノ下ルカ否ヤ、山間ノモノハ炭ヲ焚クコトモ出來ズ、木材ヲ伐ルコトモ出來ズ、其結果トシテ芝ノ値段ガ追々嵩ンデ來テ、需用供給ノ程度ト云フ者ハ實ニ今日計ルコトガ出來ヌノデゴザリマス、又サウ云フ有様ダニ依ッテ此山間ノ者ト云フモノハ今日生活ニ非常ニ難儀ヲ感ジテ居ルノデゴザイマス、ソコデ値段ノ上カラ言ッテモ、人民ノ今日ノ程度ヲ計ルニシテ見テモ、斯様ナ事ヲシテ彼ノ特別ノ勅令ノアルニモ拘ラズ内訓ヲ以テ之レヲ止メテ置クコトハ如何ナコトデアルカ、私ハ誠ニ考ガ就カヌノデアアル、ソレデ相場ガ漸々騰貴シテ來マス、需用ニハ誠ニ缺乏ヲ告ゲテ來ル、是等ハ吾々ノ論ヲ俟タズシテ、當局者ナルモノハ十分ニ考ヘテ居ル筈ト考ヘマス、然ルニソコニ至ラヌト云フモノハ、ドウ云フ點カラ斯様ニシテ置クカ

否ヤト云フコトヲ聞キタイノデゴザリマス、次ニ山林ノ此官民有區分ノ如キニ至ッテハ、ソレノ調査モ致シテ居ルノデゴザイマス、依ッテ、豫メ此調査ハ結了シタデモゴザイマセウ、若シ是ガ結了シタナラバ、何故ニ此誤謬ニ依ッテ民有ヲ官有ニ調ベタモノト云フモノハ速ニ處分ナサラヌカト云フコトデゴザイマス、又證據不分明ノタメニ民有地ヲ官有地ニ調ベテ居ッテ、ソレヲ處理セヌト云フモノハ實ニ私共ハ人民トシテハ實ニ困ッタコトデアアル、又脱落地ノ如キモ其通りデゴザイマス、要スルニ是等ノモノハ證據不十分、民有ノ證據不十分ト云ッテ、未定地ヲ調ベタモノナラバ固ヨリ官之レヲ惜マズニ民有ニ歸サシメルト云フコトハ、相當ノ事デアラウト考ヘマス、所ガ今申ス通り是等モ一向處分ト云フモノガ此内訓アッテ已來處理スルコトガ出來ヌノデアアル、ソコデ此件數ト云フモノガドンドンナモノデアラウカ、あな方ニ一部分ヲ御話シテ御參考ニ供シヤウト考ヘマス、青森縣ニ於キマシテハ二十五年ガ二千四百二十五件デゴザイマス、ソレカラ二十六年ノ六月十七日マデニ一千八百二件、秋田縣ニ於キマシテハ二十五年ハ一千七百八十二件、二十六年ノ六月十九日マデニ一千零々五件、巖手縣ハ此官地ト民地トノ程度ガ能ク立ッテ居リマス、依ッテ、他ノ縣ヨリモ小サイノデアアル、是ハ大概一箇年百件ヨリ四十件位マデノ間ニ彷徨スルノデゴザイマス、山形縣ハ二十五年ハ二千七百七十四件、二十四年ハ二千五百零五件、二十六年ノ六月三十日マデ、一千二百十八件、宮城縣ハ巖手ニ續キマシテ官民ノ區別ガ能ク立ッテ居ルノデアッテ相當ニナツテ居ルノデゴザイマス、ソレカラ、マア二十四年ヨリ二十五年ニ通ジテ四百六十八件、福島縣ハ二十五年ガ二千六百二十八件、二十六年ノ六月十七日マデ六百三十五件、茨城縣ハ二十四年ガ五千七百七十七件デアアル、二十五年ハ七千八百八十四件、群馬縣ハ二十四年ガ四千二百三十件、二十五年ハ三千九百七十五件、二十六年ノ十月マデニ至ッテ二千八百九十件、之カ各縣ノ事ヲ申シマス、ナカノ長クナリマスガ、ソレデ東北地方ノミ合セテモ五万七千七百二十六件ニナツテ居ル、北海道ト沖繩ヲ除イテモ八万四千七百七十件餘ニナツテ居リマス、併シ此件數ト云フモノニ付イテデス、此中ニ一箇年ニ許否ノ指令ニ及ンダモノハ稍、一縣下ニ對シテ十件位ツツハアル、又此件數ガ殘ラズ本省ニ居イタモノデアゴザリマセヌ、或ハ其願ッテモ指令ガナイカラ督促ヲ致ストカ、再願ヲ致ストカ、又ハ此願書ハ斯様デ惡ルイカラ斯ウ出セト云フヤウナ法外ノ件數モ這入ッテ居ルノデゴザイマス、ケレドモガ名ニシ負フ全國ニ通ジテ八万四千有餘件ト云フモノハ小サクナイ、ソレデ地方廳ノ委任條件中ニ就イテ處分スルコト云フモノハ誠ニ小サイモノデアアル、多クハ皆本省ノ指揮ヲ受ケテ許否スルノデゴザイマス、ソコデ此件數ナルモノハ九州地方ナドハ私ハ通リマセヌケレドモ、唯今申上ゲタ縣ノ如キハ實地縣廳ノ帳簿ニ就イテ取調ベタノデアアル、又其係ニ就イテ調ベタノデアアル、決シテ間違ハナイノデゴザイマス、斯ノ如キモノガ溢滞シテ居ルニモ拘ラズ、此内訓ヲ致シテ此處分ヲ止メテ置イテ、人民ノ目的モ達セシメズ、從テ國家ノ福利ト云フモノヲ圖ルコトヲ度外ニシテ置クコトハ、實ニ苦シイコト、私ハ考ヘル、而シテ是等ノ事件ノ延滞スルコトハドウ云フモノダカ私ニハさっぱり分ラナイ、是マデ此森林事務ニ就イテ使ッタ金ト云フモノハドウ位デアラウカト云フト、斯ノ如キノモノニナツテ居ル、是ハ餘りくだ

シイカラ、私八年限ノコトハ調ベガゴザリマスルケレドモ申シマセヌガ、既ニ十二年以來此本省ノ經費ヲ除イテ小林区大林區或ハ營林区等ノ經費ニ使ツタモノハ八百五十四万二千二百七十八圓餘ニナツテ居リマス、是ハ二一十七年度マデ、ゴザイマスルガ、斯ノ如キ巨額ノ金ヲ使ツテ此始末ガ著カヌト云フモノハ、實ニ濟メナイコト、私ハ考ヘル、併シ金ハどう使ツテ仕舞マモノダカラ、是レ據モアリマセヌガ、事件ノ滯滞シテ居ルト云フコトハ、實ニ甚ダ私ハ濟メナイコト、考ヘマス、長クハ言ヒマセヌガ、是等ノ事ニ就イテ質問致シタイノデゴザイマス

○議長(楠本正隆君) 請暇ノ件ニ就キ決議ヲ議場ニ諮ヒマス、林有造君ハ病氣ニ附キ三週間ノ請暇ヲ願出デラレマシタ、御異議ガナクバ……

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 可定セラレタルモノト認メマス

○議長(楠本正隆君) 次ハ議事日程第一明治二十六年豫備金支出ノ件、朗讀ハ省略シマスル

第一 明治二十六年豫備金支出ノ件(政府提出)

○吉本榮吉君(六十四番) 此二十六年度豫備金支出ノ件ハ昨年ノ六月二日議會解散ノ日既ニ承諾ヲ與ヘルモノハ與ヘ、不承諾ノモノハ不承諾ノ決議ヲ終ツタ品デアルト考ヘマスガ、果シテソレデアルトシマスルト云フト、一度決議シタモノガ復出ルト云フノハ如何ナル都合デアアルカ、議長ガ解散ニ爲ラカカラ決議ノ趣ヲ奏上ガ出來ナカッタカラ、再ビ政府ハ出サレタモノデアアルカ、私ニ於キマスルト速記録ヲ見マシタ所ガ是ハ既ニ決議ガ出來タモノト云フコトハ明デアリマス、サウソレバ其時解散ニ爲ラテ議長ガ奏上ガ出來ナカッタモノナラバ、今日其物ガマダ解散ノ時ハ議長ガ居ラナイカラ、政府委員等ハ皆臨席シテ居ラレ、殊ニ速記録ニモ瞭然ニナツテ居ルカラ、ソレヲ用ヒラル、モノカ、何ニシテモ其モノヲ再ビ承諾ヲシ、或ハ不承諾ノ決議ヲスルト云フヤウナコトハナイヤウニ考ヘマスガ、ドウ云フヤウナ都合デ再ビ出タモノデアリマスルカ、又違ツテ居リマスルカ、其此邊ヲ御尋致シマス、議長デ御分リニナラナケレバ、政府委員ニ御答ヲ願ヒマス

○議長(楠本正隆君) 此事ハ議長ガ御答致シマス、此案ハ當時委員ニ付託ヲシテ調査中ニ解散ニナリマシタ

○吉本榮吉君(六十四番) サウデアリマセヌ、ソレカラ議會ニ報道サレマシテサウシテ委員長ノ方ハ承諾ノ報道ヲシ、又少數者ノ方カラ不承諾ノ報道ト二ツ出マシテ、サウシテ議會ノ方デハ少數ノ方ノ不承諾ノ方ニ決シテ居ルト考ヘマスル、果シテサウナレバ再ビ出ル譯ハナイ、議長ノ言ハレル通ナラバ、速記録ヲ御調べ下サイ

○議長(楠本正隆君) 一度報道ニ及ンデ、又再調査ノ決議ニ及ンダル譯デア、其通ニ御承知ニナツテ宜シイ

○吉本榮吉君(六十四番) ドウデスカ、再調査ノ場合ニナツテ居ラト言ハレルデスカ

○議長(楠本正隆君) 全ク其通り

○吉本榮吉君(六十四番) 尙又調べマシテ……

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○議長(楠本正隆君) 次ハ第二委員選舉ニ掛リマス

○吉本榮吉君(六十四番) 議長ガサウ思フト云フノデスカ、志ツカリサウアルト云フノデスカ、若シサウ云フコトデナクテ速記録デモ御調べナウテ一邊議決シタモノヲ、又議スルト云フコトニナレバ、大變不都合ノコト、思フ、速記録ヲ調べテ明ニ願ヒマス

○議長(楠本正隆君) 明ニ答ヘタ積デアリマスガ、御疑團ガアレバ殊更ニ速記録ヲ調べマス——議事録ヲ朗讀致シマス

(水野書記官朗讀)

議長ハ議事日程ニ掲載シタル 明治二十六年豫備金支出ノ件(政府提出)ヲ議事ニ付スル旨ヲ宣告ス

明治二十五年豫備金支出ノ件審査特別委員松田吉三郎君百八ハ本件ニ關スル再審査ノ經過及結果ヲ報告ス

議長ハ唯今即刻參内スヘキ旨宮内大臣ヨリ通達アリタルニ依リ直ニ參内スル旨及席ヲ副議長ニ讓ル旨ヲ告ク

議長退席シ副議長著席ス

明治二十五年豫備金支出ノ件審査特別委員松田吉三郎君百八ハ本件ニ關スル少數者ノ意見ヲ演說ス

田尻大藏次官守屋此助君百十加藤大藏省主税局長ハ少數者ノ意見ニ反對石田貫之助君百八十脇榮太郎君百二十ハ贊成、野出鎭三郎君百六ハ特別委員ノ報告並少數者ノ意見ニ對シ一部贊成ノ演說ヲ爲ス

議長復席シ副議長退席ス

議長ハ過刻報道ノ通り直ニ參内シタルニ宮内大臣ヲ以テ御沙汰ノ趣ヲ仰聞ケラレタル旨ヲ告ク

總議員起立シテ敬禮ヲ行フ

議長ハ宮内大臣ヨリ左ノ口達アリタル旨ヲ告ク云々

議長ハ左ノ詔勅ヲ朗讀ス

總議員起立シテ敬禮ヲ行フ

朕帝國憲法第七條ニ依リ衆議院ノ解散ヲ命ス

○議長(楠本正隆君) 委員ハ正則ニ選定ヲ致シマスルカ

(議長指名)ト呼フ者アリ「贊成々々」ノ聲起ル

○議長(楠本正隆君) 然ラバ議長指名ニ異議ナクバ其通り決シマス、次ハ第三内務省所管……

第三 内務省所管諸官衙及議院建築費並後川

修築費繰越ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

○宮崎榮治君(五十八番) ちよつと私ハ政府委員ニ御尋致シタイコトガアル、此明治二十六年度ノ豫備金支出ノ件ハ第六議會ノ節ニ御提出ニナツテアリマシタケレドモ、又玆ニ至ツテ……

○議長(楠本正隆君) 第三ニ日程ハナツテ居リマス

○宮崎榮治君(五十八番) 其前ニ少シ御尋致シタカッタノデスカ……

明治二十六年豫備金支出ノ件 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

内務省所管諸官衙及議院建築費並後川修築費繰越ニ關スル法律案 第一讀會

二五五

衆議院議事速記録第十八號 明治二十八年一月二十六日

○議長(楠本正隆君) 朗讀ハ省キマス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

明治二十六年度マテニ竣功スヘキ内務省所管諸官衙及議院建築ニ係ル繼續費ニシテ竣功遲延ノ爲メ同年度マテニ支出ヲ終ラサル金額ハ明治二十九年マテ、又明治二十七年マテニ竣功スヘキ同省所管筑後川修築ニ係ル繼續費ニシテ竣功遲延ノ爲メ同年度マテニ支出ヲ終ラサル金額ハ明治三十年マテニ竣功スルコトヲ得

○政府委員(田尻稻次郎君) 議長……

(政府委員大藏次官法學博士田尻稻次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(田尻稻次郎君) ちよつと諸君へ唯今提出ニ爲リマシタ此筑後川其他ノ費用ニ關シマス此線越法案ノコトニ關シマシテ一言申シテ置キマスガ、是ハ事柄ハ内務省ニ屬シマスケレドモ、此法律ノコトニ就イテハ私ノ方ガ主管デアリマスカラ、ちよつと申上ゲマスガ、詰リ此法律ノ提出ノ必要ニナリマシタノハ、筑後川其他ノ此費用ト云フモノハ、其金額ト云フモノガ二十七年度限ニナツテ居タノデゴザイマス、所デ二十七年度ニ業ガ了リマセズニ、二十七年マテ云フモノガ不幸ニシテ不成立ニナリマシテ、サウシテ其二十七年度ト云フモノニ金ナシトナリマシタカラ、二十七年マテヨリ二十八年度ヘ繰越ノ手續ヲスル種ガナクナリマシタカラ、已ムコトヲ得ズ此法律案ヲ提出シテマシマスカラ、何卒速ニ御調査アラムコトヲ希望致シマス

○議長(楠本正隆君) 御質問ガナクバ、日程ノ第四ニ進ミマス

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○吉本榮吉君(八十四番) 前例ノ通り議長ノ指名ニ……

(賛成々々ノ聲起ル)

○議長(楠本正隆君) 六十四番ノ前例ノ通ト云フ委員説デアリマス

(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)

○議長(楠本正隆君) 然ラバ異議ナシト認メマス、次ハ日程ノ……

○河島醇君(十番) 緊急動議ガゴザイマス、登壇ヲ……

○議長(楠本正隆君) 河島醇君

(河島醇君演壇ニ登ル)

○河島醇君(十番) 諸君、茲ニ本員ガ諸君ノ御協賛ヲ仰ガムトスル所ノ緊急動議ハ他デハゴザイマセヌ、去ル十七日政府提出營業滿期國立銀行處分法案ノ第一讀會ニ於キマシテ、小室重弘君ノ動議ニ依リ、中野武營君ヨリ提出セラレタ所ノ國立銀行條例改正法律案ヲ併セテ同一ノ委員ニ付託スルト云フコトガ御決定ニナツタノデゴザイマス、其決議ノ結果ト致シ議長ノ指名ニ依ッテ十八名ノ委員ヲ選定セラレ、不肖河島モ其委員ノ一人デゴザイマス、而シテ此議場ニ於テ決議ノ上御付託ニナツタ所ノ兩案ニ就キマシテ、連日審査ヲ致シマシテ既ニ審査ハ昨日ニ於テ了ラサウト致シタノデゴザイマス、而シテ直ニ報告ヲ致サウト致シタノデゴザイマス、然ル所此兩案ト云フモノハ諸君ノ御承知ノ如ク正反對ノ法案デゴザイマス、一ハ政府提出ノ法案デアッテ、彼ノ明治十六年ノ銀行條例改正ノ結果ト致シテ、則チ滿期後善後策トシテ提出セラレタ所ノ法案デアアル、又一ツハ銀行ノ滿期ニナラヌ前ニ當ッテ、此銀

行條例ヲ延期セヤウト云フ所ノ法律デアアル、故ニ其性質ハ誠ニ正反對ノ法律デアッテ、雙方共ニ必要ナ樞要ナル所ノ問題デゴザイマスルガ、併ナガラ同一ノ委員デハドウシテモ是ハ一方ハ必ズ轉ンデ一方ヲ存スルコトニセナクテハナラヌ、兩案共ニ成立セシムルコトハ出來ヌノデゴザイマス、豫テノ委員會ハ御承知ノ如ク一ノ主ナル所ノ案——原案ガアツテワレニ附隨スル所ノ同一ノ性質ノ法案カ、若クハ修正案ガアツテ、之ヲ合シテ一ノ修正案ニスルト云フノガ、凡ソ通例デゴザイマス、所ガ此案ガ各、獨立ノ法案デアッテ、決シテ一ヲ以テ修正案ト爲スコトノ出來ナイノデゴザイマス、然ルニ同一ノ委員ニ斯ノ如キ案ヲ御提出ニナツテ、既ニ調査ヲ了ラシテ、サウシテ一ノ本會ニ報告ヲ致サウト致シマシタ所ガ、一ノ不都合ガ出來タノデゴザイマス、此不都合ガ出來タ故ニ、諸君ニ向ッテ一ツ之ヲ儀式的ニ御協賛ヲ仰ガナケレバナラヌコトガ出來タ、ソレハ何デアアルカト申シテ見レバ、則チ其當時第一讀會ニ付セラレタ所ノ政府案ト云フモノハ、是ハ則チ營業滿期國立銀行處分法案デアアル、ソレカラ其委員ニ同一ニ付セラレタ所ノ銀行條例改正法律案ト云フモノハ、未ダ議事日程ニ載ラヌ所ノ案デアッテ、一ハ議事日程ニ載ラヌ所デアアル、一ハ議事日程ニ載ラヌ所ノ委員ニ付託セラレタノデアアル、サウシテ吾々ハ其指名ニ依ッテ委員ノ職分ヲ盡シ、則チ審査ヲ致シマシタ所ガ、到頭了ラシテ後ニ至ッテ、之ヲ報告スルニ苦シム點ガ生ジタ、ソレハ何デアアルカト云ハ、一ノ修正案デアレバ、無論其主ナルモノニ附隨シ、政府案ノ修正案デアレバ、政府案ノ修正案トシテ少數者ノ意見モ提出スルコトガ出來マスケレドモ、此案ハ前ニ申シマシタ如ク各、獨立案デゴザイマスルガ故ニ、之ヲ修正案トシテ出スコトガ出來ナイ、所ガ委員會ノ結果ト致シテ則チ此兩案ニ就イテハ八名ニ對スル九名ノ多數ヲ以テ政府案ガ則チ通過シタノデアアル、而シテ其少數者——一名ヲ缺ク所ノ少數者則チ八名ノ委員ヨリ中野君始メ提出セラレタ所ノ銀行延期法案ヲ本會ニ報告セラレヤウトスル場合ニ際シテ、一ノ案ハ未ダ議事日程ニ載ラザル所ノ案デアアル、則チ議事日程ニ載ラナイモノヲ本院ガ委員ニ付託セラレタノデアリマスカラ、之ヲ同時ニ議事日程ニ載セルコトガ出來ナイト云フ有様ニナツテ、故ニ私ノ動議ハ今日何卒諸君ノ御協賛ヲ得テ、之ヲ儀式的ニ直ニ中野君ノ提出ニナツタ所ノ銀行條例改正法案ヲ議題ニ上シテ、第一讀會ヲ直ニ御開ニナツテ、サウシテ本案ヲ再ビ委員ニ御付託アラムコトヲ希望スルノデアリマス、是レ私ガ則チ茲ニ提出スル趣意、諸君ノ御協賛ヲ仰ガムトスル所以デゴザイマス、故ニ議事日程ノ變更ヲ求メマス

(賛成々々ノ聲起ル)

○議長(楠本正隆君) 議事日程ヲ變更スルト云フ河島君ノ請求——御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシ異議ナシノ聲起ル)

國立銀行條例中改正法律案(中野武營君外十一名提出) 第一讀會

○議長(楠本正隆君) 河島君ノ委シキ御演説ガゴザイマシタ通り、是ヨリ國立銀行條例中改正案ノ一讀會ヲ開キ、再ビ委員ニ付託ヲセラル、順序ヲ取ルト申ス請求、御異議ガナクバ

(四)

ホ二週間ト云フモノハ賣ルコトガ出來ルト云フ猶豫ヲ與ヘタノデゴザリマス
 ○高橋安爾君(百六十五番) 此十七條ト云フモノハ、人民ノ財產權上ニ關係スル法案アル、ソコデ捕獲シテ賣買スルモノデアルト言ヘバ、必ヤ家ニ飼養致シテ價ヲ増スト云フコトモ必要デアラウト思フ、捕獲ヲシタトキニハ則チ期限内デアルカラ、自由ニ捕獲スルコトガ出來ル、其鳥獸類ガ捕獲期限外ニ於テ二週間ヲ經過スルト云フト、忽チ賣買スルコトガ出來ナイ、則チ有價物件デナクシテ、殆ド價ノナキモノトナツテ仕舞フ、ソレニハ格段ノ理由ガゴザリマスルカト云フコトヲ何フノガ質問ノ主眼デゴザリマス、今ノ御答デ見マスト云フト、捕獲ヲ禁ズルト云フ方法ノ上カラ、尙ホ賣買ト云フ方一ツノ方法ヲ取ラレタカト云フコトヲ思ヒマスノデ、則チ密ニ捕ヘテ期限後ニ賣ル者ガアツテハナラヌカラ、禁止ト云フコトヲ厲行スルガタメニ、賣買ト云フモノヲモ從ツテ二週間以後ニ於テハ禁止ヲセヌナラヌト云フヤウニ聞エマスガ、人ノ所有ヲ致シマスル財產ヲ處分スルコトガ出來ナクシテ仕舞フト云フコトハ、相當ノ理由ガアツテ欲シイノデアアル、委員長ニ向ツテ其邊ヲ伺フノデゴザリマス

○小松三省君(百四十四番) ツレハ小松三省ト云フ一個ノコトニ就イテハ議論ガゴザリマスルガ、此事ヲ御答ヲスルト云フト……
 ○高橋安爾君(百六十四番) 立法ノ精神ヲ伺フノデゴザリマスカラ、則チ委員會ノ意見ヲ聞キタイノデアアル

○小松三省君(百四十四番) 委員會ハ取締上斯ノ如キ條項ヲ置クノ必要ガアルト云フ理由ヲ以テ置イタノデゴザリマス、其他ノコトニ於テハ……
 ○折田兼至君(百七十九番) ちよつと委員長ニ御注意申シマスガ、捕獲シテ活キテ居ルモノハ第二項ノ二週間外デモ差支ナイカラ、ソレヲ御示ニナレバ……

○小松三省君(百四十四番) ツレナラバ高橋君ハ死シタ鳥デナクシテ、活キテ飼フデアアル鳥ノコトヲ御質問ニ爲リマスカ
 ○高橋安爾君(百六十五番) 活キテ居ルノモアレバ、死シテ居ルノモゴザリマセウ

○小松三省君(百四十四番) 死シテ居ル方ノ鳥デゴザリマス、二週間以内

○高橋安爾君(百六十五番) ナゼ死シテ居ル方ニバカリ……
 ○小松三省君(百四十四番) ツレカラ活キテ居ル方ハ、又次ノ項ヲ見タラゴザリマス

○高橋安爾君(百六十五番) サウデスカ、宜シウゴザリマス
 ○真下珂十郎君(百七十番) 本員ハ修正ノ意見ヲ持ツテ居ルノデゴザリマスルガ、二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○小松三省君(百四十四番) ツレカラちよつと正誤ヲシテ置カネバナラヌコトガゴザリマス、第十八條ノ捕獲ヲ禁ズル鳥類ノ卵……又「離ヲ取り若ハ之ヲ販賣スルコトヲ禁ズ」トアリマス、其「販賣」ハ「賣買」ニ矢張正誤ヲ致シマス

○井手毛三君(百九番) 此十七條ニ就イテ御尋致シマスルガ、唯今御説明ニナル捕獲期限外ト云フモノハ、今二月末日三日一日ト云フト云フ御答ノ比喩デハ全ク捕獲シ得ラレル期限ト云フヤウニ聞エマスルガ、其期限ノ外ト云

フコトニナルト……
 ○小松三省君(百四十四番) 茲ニ第三項ヲ御覽下サルト、捕獲ヲ禁止シ又ハ停止スヘキ保護鳥ノ種類及期限ハ農商務大臣之ヲ定ムトゴザリマスルカラ、ソレモ鳥ノ種類ニ依リ、又ソレヲ保護スベキ期限ノコトハ農商務大臣ガ定ムルノデゴザリマス、其定メタ期限デゴザリマス
 ○井手毛三君(百九番) 唯今ノ御答辯デハ捕獲期限ト云フコトハ三月末日ト云フコトナラバ、外ト云フト彼ノ……
 ○小松三省君(百四十四番) 捕獲期限後デゴザリマスネ
 ○井手毛三君(百九番) 捕獲期限後ニハ捕獲スルコトガ出來ナイ……
 ○小松三省君(百四十四番) 出來ナイケレドモ、捕獲ヲスルコトヲ許シテアル、期限内ニ捕獲シタ鳥ヲ期限ガ濟ムト、直グニ其日カラ賣買スルコトガ出來ヌト云フコトハ不都合デアアル、ソレダカラ二週間ノ猶豫ヲ與ヘル
 ○井手毛三君(百九番) 今ノ御答辯ノ如クデアレバ、捕獲期限内ト云フコトニナラナケレバナラヌ、此捕獲期限ト云フコトハ捕獲禁止期限ト云フコトデアリマスルカ、果シテサウデアラナラバ、禁止期限ノ外ハ捕獲スルコト云フコトガ出來ナイ筈デアアル
 ○小松三省君(百四十四番) 捕獲期限外ニ於テ捕獲シタ鳥獸、例ヘバ三月ノ末日迄ニ捕獲シテモ宜シイト云フノデス
 ○折田兼至君(百七十九番) 「捕獲」ト云フ字ハ「保護」ト云フ字ト間違ッテ居ルノデ、誤植デスカラ
 ○井手毛三君(百九番) 間違ッテ居ルナラ、ソレデ宜シイ
 ○小松三省君(百四十四番) 間違ッテ居ラヌヤウデ、是デ宜シイヤウニ思ヒマスガ

○折田兼至君(百七十九番) 字ガ全ク違ッテ居ルノデス「保護期限内」ト云フ「保護」ト云フ字ガ「捕獲」ト云フ字ニナツタノデスカラ、今ノヤウナ質問ガ出ルノデス
 ○小松三省君(百四十四番) 間違ッテハ居ラヌヤウニ思ヒマス、尙ホ御再考ヲ願ヒマス
 ○吉本榮吉君(百六十四番) ツレハ委員長ガ間違デアリマス、委員長ノ申サレルヤウニスルト、捕獲スルヲ得ル期限ト言ハナケレバナラヌデス
 ○小松三省君(百四十四番) 捕獲期限外デス、捕獲ト云フノハ鳥ヲ捕ルンデスネ
 ○吉本榮吉君(百六十四番) 此場合ニスルト禁止ノ場合ニナリマスカラ、ドウシテモ間違デス
 ○小松三省君(百四十四番) 捕獲期限外デスヨ
 ○東尾平太郎君(百十四番) 委員長ノハ間違ッテ居ラヌデス
 ○島村成達君(百十四番) 私ハ此狩獵法案ハ贊成ヲ大體表スルモノデゴザリマスガ、少シ其前ニ確メテ置キタイト思ヒマスノハ、此第二十條ノ處ニ「第九條ニ違背シテ免狀ヲ受ケタル者ハ云々」ト云フコトガアリマスガ、此第九條ノ一等ノ免狀ヲ受ケタル者ニシテ二等以下ノ免狀ヲ受ケ、又二等ノ免狀ヲ受ケベキ者デアツテカラニ、三等ノ免狀ヲ受ケタ場合ハ、固ヨリ何カ惡意ヲ差挾ンデ課稅ヲ免カレヤウト云フ惡意ガアツテ、固ヨリ刑罰ヲ以テ問フベキモノデ、是等ノ所爲ハ無論此規定文ヲ以テ罰スベキモノデアラウト存ジマスガ、

會ニ付セラレマシテ段々討究致シテ見マス我選舉法ニハ種々ノ手續ガゴザ
イマシテ、或ハ投票ノ保管期限ニモ僅ニ結了ヲ以テ——選舉結了ヲ以テ保存
期限ヲ終ルノモアル、或ハ一年或ハ六十日ト云フヤウナモノモゴザリマス、
又訴ヘル方ニ於キマシテモ地方裁判所ヲ一審トシテ直ニ上告ニ上ボルモノモ
アル、又ハ控訴院ニ直ニ訴ヘルト云フヤウナモノモアリマス、ソレ故ニ
ソレノ手續ガ違フテ居リマスカラ、此ソレノ違フテ居ル手續ヲ一ノ法律ヲ
以テ適用セシメヤウト致シマスニハ、頗ル困難ヲ感ジマス、併ナガラ段々
委員會ニ於キマシテモ稍々成案ハ出來マシテ、殆ド適用ノ出來サウニハ相成
リマシタケレドモ、ドウモ斯様ナ法律ハ原則ヲ定メルノハ熟考ニ熟考ヲシテ
提出致ス方ガ宜シカラウト云フ考デアリマシタ、故ニ本案ニ於キマシテハ委
員長ノ報告ヲ俟タズ、提出者本員ヨリ撤回ヲ請求致シマス、議場ニ御許ヲ得ル
ナラバ、撤回ヲ致シタウ存ジマス

○議長(楠本正隆君) 提出者中島君ヨリ該案ノ撤回ノ請求
〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○議長(楠本正隆君) 御異議ガナカラヌケレバ、請求ノ通り撤回シタモノト
認メヤウト思ヒマス、然ラバ異議ナシト認メマス、次ハ第七古物商取締——東
尾平太郎君

○東尾平太郎君(百十四番) 角田君ニ……
○議長(楠本正隆君) 角田眞平君

第七 古物商取締條例改正法律案 第一讀會ノ續(特別委員 長報告)

(角田眞平君演壇ニ登ル)

○角田眞平君(二百十四番) 古物商取締法案ト云フノハ質屋取締法案ノ委員
會ニ御付託ニナリマシタノデゴザリマシテ、同委員長理事ノ都合ガゴザリ
マシテ、知り得テ居ルダケ私ガ代テ報告ヲ致シマスデゴザリマセウ、尙
ホ九人ノ委員ガゴザリマスカラ、私ノ知ラヌ所ハ代ルニ其委員諸君カラ
御答ヲ願フト斯様ニ極メマシテ、簡略ニ報告ヲ致シマスデゴザリマス、第四
條ニ於キマシテ「管轄以外ノ地ニ主タル營業所」ト云フノデ「主タル」ト云フ文
字ヲ削リマシテ「於テ」ト云フ文字ニ改メマシテゴザリマス「主」ト云フ文字ヲ
入レル必要ガナイト云フ理由ニ依ッテ、斯ク改メタノデゴザリマス、同ク第
二項ニ「主タル營業所」ト云フ「主タル」ト云フ字ヲ削リマシタノモ同様デゴ
ザリマス、同ク條ノ末ノ方ニ「營業者」トゴザリマスノハ「古物商」ト分明ニ
書ク方ガ宜シイト云フ理由デ改メマシタ、第八條ニ「傳染病ニ汚染シタル」ト
云フノハ「病毒」ト云フ「毒」ト云フ字ヲ入レルノガ相當デアラウト云フノデ、
加ヘマシタ、第十條ニ「品觸到達以後一箇年」トゴザリマスノハ、長キニ失ス
ルト云フノデ六箇月ニ致シマシタ、第十一條ニ「帳簿ニ記載スヘキ事
項及ヒ其ノ製方」ト云フノハ、「帳簿ニ關スル」ト飛ンデ書ク方ガ分明デア
テ、且ツ煩ハシクナイト云フノデ、右様ノ修正ヲ致シマシテゴザリマス、且
ツ古物商ハ質屋ト相違シテ居リマシテ、中ニハ僅ナル所有ノ帳簿ヲ賣拂ッテ
翌日カラ紙屑屋ノ營業ニナルモノガ古物商中ニ這入ッテ居ラウト云フノデ、
ソレ故ニ殆ド數十万人ガ支配ヲ受ケルノデゴザリマスカラ、或ハ帳面ノ
中ニモ繪ヲ書イテ符牒ニスルモノモアレバ、一丁字ノ分ヲヌ者モ營業スルモ

ノガ澤山デゴザリマス、ソレ故ニ一々事項カラ帳面ノありカラ規則立ッテ極
メラレテハ困リマスノデアリマスカラ、其邊ハ能ク世間ノ事情ヲ斟酌シテ貫
フヤウニ、當局者ニモ注文ヲシテ置キマシタ、是等ノコトガゴザリマスデ、
帳面ニ關スルト飛ンデ修正ヲナシタ譯デゴザリマス、第十三條ニハ一項ニ
「傳染病毒」ト云フ「毒」ト云フ一字ヲ加ヘマシテゴザリマス、ソレカラ朱デ追
加シテゴザリマス通り「警察官ニ於テ物品ヲ差押ヘタルトキハ領置證書ヲ差
出人ヘ交付スヘシ」質屋ノ取扱法案ノ中ニモ斯様ナコトガゴザリマス、尙質
屋ニハ是ヨリモウ少シ餘計ニ質屋ト云ヘルモノガ權利ヲ確メル仕方ニナッテ
居リマス、古物商ハ質屋ト少シ事情ヲ異ニシテ居ル所ガゴザリマスカラ、是
ダケノコトヲ入レマシタノデゴザリマスカラ、強チ質屋通ト云フノデゴザ
イマセヌ、質屋ノ或ル部分ヲ此中ニ入レマシタ、古物商デゴザリマス所ガ、
領置證書ヲ取ラナイデ出スベキ義務ト云フモノハ特ニアル譯ガナイカラ、斯様
ニ致シマシタ、第十七條ノ「古物商ハ第二條第三條第四條第六條第七條ヲ犯
シテ」トゴザリマスノヲ、此文字ヲ削リマシテ「古物商ノ買受又ハ」ト云フコ
トニ修正ヲ致シテゴザリマス「物品」ニシテ「ト云フ下ヘ」遺失物若ハ」ト云フ文
字ヲ加ヘマシテゴザリマス、其次ノ項ニ「被害者ニ還附スヘシ」トゴザリマス
ノヲ「還附スルコトヲ得」ト致シマシタ、從ッテ「官沒ス」トアルノヲ同ク筆
法デ「官沒スルコトヲ得」ト直シマシタ、第二十二條營業上トゴザリマス、此
分ハ字ノ正誤ヲ前會議ノ時分ニ申上ゲテ置キマシタ「商」ノ字ハ前ニ正誤シ
テ這入ッテ居ル答デアリマス、其上ノ「商」ノ字ヲ「營」ノ字ニ直シテ「營業上」ト
斯様ニ直シマシタ、第二十四條「四月一日」ト云フノデ當局者ニ段々問合セマ
シテ、本年ハ斯ノ如ク將來屢々出マシタ議案ハ上下兩院ヲ通過スルヲ満足ス
ルノミナラズ、是ガ公布ニナッテ實行セラレンコトヲ希望シマス所カラ、屢々
打合セマシタ結果トシテ、或ハ地方官ニ問フ事モゴザリマセウ、警部長會議
ヲ開クコトモゴザリマセウ、故ニ九月一日ト云フ方ガ便利デアラウト云フノ
デ、九月一日ト云フコトハ實行ノ上ニ相當デアラウト云フノデ直シマシタ、
更メテ御報告シマスルハ、第二十五條ノ明治十六年布告第五十號トゴザリマ
スノハ、五十號布告ト云フ方ガ穩當デアルト云フ積リデ、書イテ居ッタノヲ
問違ヒマシタ、其故ニ御直シヲ願ヒマス「明治十六年五十號布告古物商取締
條例ハ云々」ト斯様ナ譯ニナリマス委員會デ決シマシタ是ガ大要デ、委員長理
事ノ選舉ノ手續ハ更メテ申シマスル必要ハナイト存ジマスデ、略シマシテ右
様デ御承知ヲ願ヒマス

○立花親信君(百十七番) 十七條ニ「古物商ハ」ト云フコトハ此朱書デハ消シ
テ、併シ唯今委員長ノ御報告デハ「古物商ハ」ト斯ウ云フコトニ御報告ニナッテ
居リマスガ、どつちデアリマスカ

○角田眞平君(二百十四番) 古物商ノデゴザリマス

○吉本榮吉君(六十四番) 此十三條ニ就イテ御尋シマスガ、十三條ノ尻ヘ這
入ッテ居リマス「警察官ニ於テ物品ヲ差押ヘタルトキハ領置證書ヲ差出人ヘ
交附スヘシ」トアル、是マデノ普通ノ差押ト云フモノハ其所有者ノ處デ差押テ
置クカラ、其所有者ニ預ケテツコカラ警察官ガ領置證書ヲ受取ッテ往クヤウ
ニ考ヘル、是ハソレトあちらこちらデ、警察官ガ領置證書ヲ本人ニ渡サナケ
レバナラヌヤウニナッテ居ルガ、サウスルト此差押ハ警察官ガ物品ヲ取ッテ

往クカ、又所持人ノ家ニ置クト面白クナイガ……

○角田眞平君(二百十四番) 持ッテ往クノデアリマス

○吉木榮吉君(六十四番) 持ッテ往ク積リデアリマスレバ、差押ヘルト持ッテ往クノデアリマスカ

○角田眞平君(二百十四番) 左様、其積リデアリマス

○高橋安爾君(百六十五番) 議長 百六十五番ハ何か心づかき御問デアリマスレバ

○角田眞平君(二百十四番) ちよつと極クやさしいノデアリマス、第三條——

第四條ニ——「行政廳ノ管轄内ニ店舗ヲ設ケタル云々」トアツテ、ソレカラ第四條ニハ「免許ヲ受ケタル行政廳ノ管轄以外ノ地ニ於テ營業所又ハ店舗ヲ設ケントスル」ト斯ウゴザイマスガ、營業所ト店舗ト、ドウ違フノデアリマスカ

○角田眞平君(二百十四番) 營業所ト云フノハ私が宿屋ニ泊ッテ二階ニ居ッテ、人ヲ集メテ營業ヲシテモ、營業所、併ナガラ店舗ト云フノハ暖簾ヲ下ゲ、店ヲ開イタデナケレバ店舗トハ申シマセヌ、其故ニ本人ガ居リマシテ自分ノ管轄内ニ營業スルモノ、營業免狀ヲ受ケルノヲ二條ニ極メテ店舗ト云フコトニ就イテ、三條ヲ決定シテ四條ニ於テ管轄以外ニ於テ營業所ト店舗ト云フコトヲ、更ニ極メテ、サウ云フ區別ガアル

○高橋安爾君(百六十五番) 第三條ノ則チ自己ノ免許ヲ得マシタ行政廳ノ管轄内ニ於テハ營業所ヲ設ケルコトハナイモノデスカ

○角田眞平君(二百十四番) 營業所ト云フコトハ免許サヘ受ケサヘスレバ、特ニ其旨ヲ届出ルニ及バナシ、私ハ東京ノ此處デ營業スルト云ヘバ、ソレデ宜イ、更ニ別ニ店舗ヲ設ケル時ハ届出ナケレバナラヌ、サリナガラ埼玉縣ノ直ニ隣ハ茨城縣デアルカラ、今埼玉バカリデ營業ハシナイ、寧ロ近イ茨城ノ方ヘ往カナケレバナラヌト云フコトガアルカラ、サウ云フ時分ニハ取締ヲシナケレバナラヌガ、併シ自由ニ營業ヲサセナケレバナラヌト云フ趣意デ、是ハイクラ餘所ヘ行ッテ營業シテ差支ナイ、更ニ餘所ヘ行ッテ店舗ヲ設ケヤウトスレバ、ソコデ又許可ヲ得バナラヌ、營業上サウデアルト、斯ウ云フ趣向デゴザイマス

○高橋安爾君(百六十五番) 營業所ヲ設ケタトキニハ、第三條ノ場合デハ届出ルニ及バナシ、店舗ヲ設ケタトキニハ必ず行政廳ニ届出ヨ、斯ウナツテ居リマスガ、何故店舗ナレバ届出ル必要ガアル、營業所ナレバ届出ル必要ガナイカト云フ其區別ヲ承リタイ

○角田眞平君(二百十四番) 第二條デ營業デハ許可ヲ得テ居リマス、第三條ニゴザイマスノハ、其管轄内デ第四條ト云フ方ハ管轄以外デゴザイマス、免許ヲ受ケタル行政廳ノ管轄以外ノ地ニ於テ營業所又ハ云々、第三條ハ管轄内……

○高橋安爾君(百六十五番) 管轄内デアツテ、ソレハ……

○角田眞平君(二百十四番) サウデス

○高橋安爾君(百六十五番) 營業ハ免許ヲ固ヨリ受ケテ居ラネバナラヌ、店舗ハ届出ルト云フ必要ノ理由ハ營業上ニモ均シク伴フベキ理由デアルト思ハレマスガ、ソコノ區別ハアリマスカ

○角田眞平君(二百十四番) 斯ウ云フコトデゴザイマス、營業上ノ免許ヲ受ケルト云フコトハ、届出ルドコロデハゴザイマセヌ、必ず營業スル者ハ免許ヲ受ケナケレバナラナイ、ソレデ第二條デ免許ヲ受ケテ居リマスカラ、届出ルニ及バナシ、其外ニ支店ヲ置カウト別ニ一軒家ヲ持タセヤウトドウシヤウト、サウ云フコトヲスルトキニハ、別ニ免許ヲ受ケナクテモ宜イ、ソレ故ニ營業ト云フノハ……

○高橋安爾君(百六十五番) ソレカラ第四條ノ二項ニ於テ「其ノ地ノ行政廳ニ届出ヘシ」ト云フノハ、行政廳——地方行政廳ノ階級ニハ別ニ區別ハナイノデアリマスカ

○角田眞平君(二百十四番) ソレハ都合ニ依リマシテ警察署ニ出シテモ宜カラウ、或ハ島司ナラバ島司ニ出シテモ宜カラウト云フコトニ致シマシタノハ、縣廳マデ行カナクテモ宜イト云フ考デゴザイマス、郡役所デモ戸長デモ何所デモ構ハヌト云フ考デ、ソレハ命令デゆとりヲ取ッテ置キマシテ、極ク柔カニシテ前ニハ府縣廳ト云フヤウナコトガ書イテアツテ、却ッテ面倒デアツタト存ジマス

○高橋安爾君(百六十五番) ちよつと氣ガ付キマセヌガ、サウ云フゆとりヲ取ッタ箇所ガゴザイマスカ

○角田眞平君(二百十四番) 則チ此法律文ガ左様デゴザイマス、前ニハ御承知ノ通り、東京ハ警視廳、地方ハ地方廳ト書イテゴザイマス

○高橋安爾君(百六十五番) サウスルト御答ノ要旨ハ第四條ニ依ッテゆとりヲ取ッテアルコトハ見エテ居ル、斯ウ云フノデアリマスカ

○角田眞平君(二百十四番) ハイ

○廣瀬貞文君(百六十九番) 第十七條ニ就イテ質問ヲ致シマス「遺失物若ハ贓物ニ係ルトキハ云々被害者ニ還附スルコトヲ得若シ被害者知レサルトキハ云々」トアツテ「ヘシ」ト云フノヲ「得」ト御變ヘニナツタ趣意ハ、是非還サニヤナラヌト云フノデアナクシテ還シテモ宜シ、還サヌデモ宜イト云フノハ、私共ハ還シタ方ガ宜カラウ、矢張「ヘシ」ノ方ガ宜カラウト考ヘマスガ、どちらデモ宜イト云フ修正ノ趣意ハドウ云フ御趣意デゴザイマセウカ、

○角田眞平君(二百十四番) 「ヘシ」ト云フト大變都合ガ好クナルト云フノデスカ

○廣瀬貞文君(百六十九番) 還スノガ至當デアツテ、是非共還スベキモノト思フデス、ソレ故ニ「ヘシ」トシタイト思フデス

○角田眞平君(二百十四番) ソレハ斯ウ云フ意味デゴザイマス、質屋若クハ古物商ト云フヤウナモノデ、其商賣ノ人ノ話バカリ聞クト大變政府ノ言フコトヲ斥ケネバナラナイ、又政府ノ言フコトバカリ聞クト、大層質屋ノ言フコト古物商ノ言フコトヲ斥ケナケレバナラナイ、委員ハ能ク之ヲ兩方カラ見マシテ、斯様ニ致シマシタノデ、則チ贓物デアルト云フコト、遺失物デアルト云フコトガ知レテ持ッテ來テ、ソレヲ下附スルト、下附シタ人ハドコカヘ逃ゲテ行ッテ仕舞ッテ知レヌト云フトキハ、警察官ガ預ッテ居テ呉レル方ガ宜イノデ、或ハ汽車ノ中デ拘摸ニ遇ッテ行ッテ見ルト、此人ハ身柄ノ人デ、何ノ某ト云フコトガ知レテ居ルカラ、此人ハ汽車ノ中デ取ラレタ時計ガ必要デアルカラ、是ヲ持ッテ旅行シテモ一向差支ナイカラ渡シテヤル、斯ウ云フ便利ガアルノデ、檢事ノ手ニ行ッタリ豫審判事ノ手ニ行ッタリスルト、さるデ

イケナイ、問髪ヲ容レザル間ニ於テ、警察官……サウ云フトキニハ無論下ゲテヤツテ宜イ、サリナガラ警察官ニ下ゲテヤラネバナラヌト云フ義務ヲ負ハセルト、贓物デアルト後ト困ルカラ、下ゲテヤラネバナラヌト云フハ、ソレデ「還附スルコトヲ得」ト書イテ置イタ積リデゴザイマス

○廣瀬貞文君(百六十九番) 官没ノ方モ其御趣意デスナ

○角田眞平君(二百十四番) サウデゴザイマス

○草刈親明君(二百二十六番) 質問致シマス、田中サンニ御叱ヲ蒙ルカモ知レマセヌケレドモ、私ハ學校ノ積リデ御質問スルノデハゴザイマセヌ、第十七條ノコトデチよつと二口バカリ御質問致シマス、此法律ノ第十七條ニ依ッテ見マスルト、警察官ト云フモノハ贓物或ハ遺失物ヲ没收スルノ權利アリ、被害者ニ還附スルノ權利アルトナツテ居リマス、然ルニ刑法ニ依リマスレバ、明ニ贓物沒收ノ權利ハ裁判官ノ特權ニ屬シテ居ル、場合ニ依ッテハサウデナイコトヲ得ルト云フ取除法モゴザイマスカラ、此法ハモウソレデ宜イトシテ、贓物還給ノ處分ハ刑事訴訟法ニ於キマシテ是ハモウ動スベカラザル裁判官ノ特權ニナツテ居リマス、被害者ノ請求ガゴザイマセヌデモ、是ハ裁判官ガ裁判所デ宣告シテ、被害者ニ還スベシト云フコトニナツテゴザイマスカ、然ルニ此權利ヲ警察官ニ御與ヘニナリマシタナラバ、裁判官ノ權利ヲ侵害スルト云フ嫌ハゴザイマセヌカ、御承知ノ通り今日ハ警察官ニ於キマシテ、贓物ヲ被害者ニ還付致シマス場合ニ、假ニ之ヲ下付スト申シテ、假下戻シ還付トカ申シマス角田サンハ、御職業デゴザイマスカラ、御承知ノ通り其事ガ獨リ不明ニ屬シテ居リマス、ソレカラ今一ツハ末文ノ「若シ被害者知レサルトキハ徵收シタル日ヨリ一年ノ後官沒スルコトヲ得」トゴザイマスカ、是ハ事實ニ依ッテ被害者ノ知レナイ所ノ遺失物ト贓物トハドウ云フ場合ニアルノデゴザイマスカ、私杯ノ考デハ泥棒ガアツテ始メテ贓物ガアルト云フ事柄ハ、贓物ガアツテ、則チ被害者ガアツテ、始メテ贓物ガアル、贓物ガアツテ泥棒ガアルコトガナクテハナラナイ、遺物ガアツテ遺シ主ガナイト云フコトハナカラウ、人ガ殺サレテ居タカラ、殺シタ者ガアル、殺サレタ者ガゴザイマシテ……例ヲ擧ゲテ御教授ヲ願ヒマス

○高橋安爾君(百六十五番) 左様ナ問答ヲシテハ困ル、ソレハ修正ノ意見デア

○草刈親明君(二百二十六番) 修正シヤウト思フカラ、聞クノデアアル

○角田眞平君(二百十四番) 二百二十六番ハ私共ノ同業者デアツテ義理ノ能ク分ル御方デアアルカラ、一口口御分リニナラウ、而シテハ質屋條例ニモヒゞく關係ヲシテ居ル、質屋條例ニモ此所マデ行カントスル時分二百十三番ガ御止ニナツタヤウナ演説ノタメニ、遺物ナガラ切レタノデアアルカラ、御答シテ置クト二讀會ノ時分ニ分明ニナツテ議論ガナクテ輕ク濟マウト思フ(草刈親明君「ソコデ質問致スノデアアル」ト呼ブ)御承知ノ通り質屋條例デモ草刈君ガ多ク之レヲヤカシク仰シヤツタガ、御承知ノ通り刑法ノ附則ガ之レニ働クノハ五十四條カラ五十七條マデ、商法施行條例ハ質屋ニ關係シマス方デハ五十二條、又動産質ニ關係スル條例デハ三百八十一條ト三百八十條デ、同ク民法ノ債權擔保編ノ第九十九條ノ第一、ソレカラ明治九年四月五十九號ノ遺失物條例、是ダケヲ御通讀ナサレテ、此處ガ立法院デアルト御思ヒナサル

ト、其議論ハ出テ来ナイ、ト云フノハ御承知ノ通り古物條例質屋條例ハ特別デ、外ノ法律ニドノヤウニ書イテゴザイマセウト、此處デ規則ヲ極メルト、ソレデ働クノデ、裁判官ガ拘束サレルノ權利ヲ奪フノト云フ問題ハ起ラヌ、此處デ極メ次第、更ニ御尋ノ此古物條例第十七條ニ就イテ一言御答シマスルト云フト、遺失物若クハ贓物ニ附イテ特ニ驚クベキ御質問ハ、百六十五番ノ御叱ニナツタ如ク、幾ラモ遺シ主ノ知レナイ遺失物ガアル、盜マレ人ノ知レナイ贓物ガ澤山アル、泥棒ガ左様デゴザイマス、何處デ盜ミマシテ斯ウシマシタ、其品物ハ此條付ノ著物デゴザイマスト言ヘバ、直グ之レガ懲役ニナツテ裁判ガ確定スル、併ナガラ未ダ届出テ、ナイガ、裁判ハ確定シテ仕舞ッタ、ソレカラ遺失物デモサウデアアル、御互ガ品物ヲ遺シタ時ニ、一々届ケマスカ、隨分届ケナイ人ガ澤山アル、併ナガラ拾ッテ来タ物ヲ質ニ入レル人モ澤山アル、併ナガラ若シ其品物ノ遺失主ガ知レナイ時ハ、則チ官沒スルコトヲ得ト書イテアル、警察官ニ斯ノ如キ權利ヲ持タセルト否トハ、大變關係ガアル、今言ツタ通り汽車ノ中デチよつと物ヲ取ラレタト云フ如キ問髪ヲ容レザル場合ニ於テハ、裁判官ノ受ケルノ何ノト云ツテ居ラレヌ、ソレ故ニ斯ノ如キ場合ノ事實ハ他ニハナイ、其外ハ刑事訴訟法ノ手續ヲ經テ檢事ヤ豫審判事ニ持ッテ往クト云フノデアアルカラ、ソコヘ持ッテ往ケバ刑法五十四條以下ノ規則デズん、進シテ往ケルカラ、一向心配ハイラヌ、委員會ハ斯様ナ譯デ議決シマシタ

○草刈親明君(二百二十六番) 此先刻申上ゲマシタ通り、現行法ニ依ッテ見マスレバ、唯今汽車ノ中デ泥棒ニ遇ツタ場合ニハ、警察官ガ其品物ヲ假ニ還付スルト云フコトニナツテ居ル、其假ニ還付スルト云フ事柄ハドウ云フ差支ガアツテ、假還付デナク本還付ニスルト云フコトニナルノデアアルカト云フコト、角田君ノ御考デハ盜マレ主ガ則チ被害者ガゴザイマセヌデモ、加害者ガ是ハ盜品デアアル、喩ヘテ申シマスレバ、甲ナル者ガ、質屋ニ自分ノ品物ヲ質入スル、他ノ事件デ被告事件ガ起ツタ、其時ニアノ質屋ヲ害シテ遣ラウト云フ時ニ、是ハ私ノ品デアナイト云フコトヲ申シマスレバ、矢張裁判官ハ審問ニナリマシテ、被害者ガナクトモ其者ガ竊盜罪ニナツテ、ソレ等ノ結果デ、其品物ハ沒收サレルト云フコトニナルカ、如何デス

○角田眞平君(二百十四番) 唯今迄ノ例ヲ取調ベマスルト、甲乙ガ狂レ合ッテ申立テルトカ、一方ヲ害サウト云ツテ申立ツルコトハ、警察官ニ於テ取調ベタ例ハゴザイマセヌ、汽車ノ例ノ外デゴザイマセヌ、而シテ現行法ニ假ニ下ゲルト云フコトハゴザイマセヌ、警察官ガ厚意ヲ以テ假ニ下ゲルト云フヤウナ事ハ書カレマセヌ

○目黒貞治君(二百二十五番) 此行政廳ト指シテアルノハ、府縣廳ヲ指シタコトデアリマスカ、如何デアリマセウカ

○角田眞平君(二百十四番) 先刻御答ヘシマシタ

○目黒貞治君(二百二十五番) 古物商ノ免許ハ特任條件デアツタガ、唯今モサウナツテアルカドウカ、或ル縣ニ於テハ部長ガ此免許ヲ與ヘテ居ルト云フコトニ心得テ居ルガ、現金ハ如何デアアルカ、此點ヲ御調ニナツタカ、若シ是ヲ郡長ガ免許ヲ與ヘルトスレバ、古物商ガ甲ノ縣ヨリ乙ノ縣ニ往クトキハ、此四條ノ手續ヲ盡サナケレバナラヌト思フガ、其邊ハ委員會ニ於テ當局者ニ御質

問ニナリマシタ
○角田眞平君(二百十四番) 前段ニ就キマシテハ、先刻私ガ或議員ニ御答ヘシマシタ、サリナガ改メテ申シマスレバ、行政廳ト云フノテ範圍ヲ擴メテ、是迄ノ如ク東京ハ警視廳、各府縣ハ府縣廳ト云フヤウニ致サヌ方ガ宜カラウト云フノデ、當局者ト打合セ濟デゴザリマス、後段ノコトハ當局者ガ極テ明瞭ニ知ツテ居ッテ、極テ能ク打合セテ置キマシタカラ、私ヨリハ當局者ニ御尋ヲ願フ方ガ都合ガ宜イ、而シテ此案ハ政黨問題デモナケレバ、ひどく派ノ分ル、ト云フ問題デモナイカラ、其邊ハ當局者ト委員トノ間ニ區別ガゴザリマセヌ、明瞭ニ當局者カラ御答アラシコトヲ深ク希望シマス

○目黒貞治君(二百二十五番) ちよつと政府委員ニ問ヒマスガ、現今ノ處デ此免許ハ各地方デハ府縣知事ガ與ヘテ居マスカ、郡長ガ與ヘテ居マスカ
(政府委員内務省土木局長都筑馨六君演壇ニ登ル)

○政府委員(都筑馨六君) 此行政廳ト云フ言葉ニ就イテ大分疑ガアルヤウデゴザリマスガ、是ハ地方長官トアリマシタノヲ行政廳ト致シマシタ所以ハ、随分理由ガ餘計アル、一ニハ官制ノコトデアアルガ、勅令以下ノ命令ニ出ルカ、縦シ又法律デびつたり地方長官ナラ地方長官ト極メテ置キマスルト、最前角田君カラ申シタ如ク、島ノ隅々マデ地方長官ニ届出ナケレバナラヌト云フ不便ガアルカラ、旁、官制ヲ變ヘテ法律ニ地方長官ト唯今マデアアルノハ、ドウカト云フ疑モ起リマス、旁、憲法ニモ行政廳ト云フ字ガ使ッテアルカラ、法律ニ書キマスルトキハ行政廳ト廣ク規定シテ置イタ方ガ宜カラウ、ドウセ施行細則ヲ出サナケレバナリマセヌカラ、何處ノ行政廳ト云フコトハ勅令ナリ他ノ命令デ規定スル積リデアアル、現今ハ地方長官ガ原則トシテ遣ルヤウニナツテ居ル、尤モ不便ナ所ハ或ハ郡長ニ委任條件ノ一トシテ、委任シテ居リハセヌカト思フ

○議長(楠本正隆君) 決議ヲ採リマスル、該案ニ對シテ二讀會ヲ開クニ同意ノ諸君ハ起立
起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數
○恒松隆慶君(七十番) 直チニ二讀會ヲ開カレシコトヲ希望シマス
○田中島雄君(五番) 二讀會ヲ開カレシコトヲ希望シマス、聊カ二讀會ヲ開クニ就イテ先刻モ少數デアリマシタカラ、意見ヲ述ベテ置キマス、ナゼト云フニ、實ニ本期ノ議會ハ大分撻取りマシタヤウデゴザリマスガ、併シまるデ此法律デ成ルベク一ツ施行ノ出來ルモノハ、今期ニ於テ是非トモ施行シタイト云フノハ、諸君ト共ニ御同感デアラウト思フ、然ル所此規則ナルモノガ萬一貴族院ノ方デこちらノ意見ニ違ヒマスレバ、協議會モ開カナケレバナラヌ、旁、ナカノ、是カラマダ手が掛リマセウト思ヒマス、私ノ考ヘルニハ議會ハ既ニ殆ド半分ノ日子ヲ費シテ、ソコデ唯一讀會カラ委員迄ニ總テノ案ガナツテ居ル、大層撻取りマシタヤウデアッテ、其實ハマダさつぱり當院ノ方ノ仕事ト云フモノハ私ハ出來テ居ラヌト思フ、サウアッテ見マスレバ成ルベク此委員カラ報告ガアッテ、二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ採ツタトキニハ、直チニ其時ニ於テ私ハ二讀會ヲ開イテ、サウシテ可決スルモノハ可決シテ、どん／＼貴族院ノ方ヘ送付ケタイト思フ、サウシマセヌト本期ノ議會ニ於テ諸君ト共ニ希望

スル所ノ總テノ法律ガ思フヤウナ都合ニ運ビラスルト云フ時ガ來ルマイト思フ、是非トモ是ダケニ就キマシテモ、今日二讀會ヲ開クコトヲ私ハ切ニ希望致シマス
〔贊成キヤ〕ト呼フ者アリ「反對キヤ」ト呼フ者アリ
○議長(楠本正隆君) 田中島雄君ノ動議、直チニ二讀會ヲ開クト云フコト、右ニ同意ノ諸君ハ起立
起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數ト認メマスル、直チニ古物商取締條例ノ法案ニ就キ二讀會ヲ開キマス、該案ハ修正アル箇條ノミヨリ朗讀シテ、便宜ヲ以テ取束ネテ議題ニ供シマス、三條マデ朗讀ヲ省イテ議題ニ供シマス
○吉本榮吉君(八十四番) 私ハ此第一條ノ「一度使用シタル物品」トアリマシテ、二度使用シタコトハ籠ッテ居ラヌ、一度以上ハドウナルカ、分ラヌコト、思ヒマスカラ、是ヲ一度以上ト云フコトニ……
〔原案贊成〕ト呼フ者アリ
○議長(楠本正隆君) 六十四番ノ「一度以上」ト云フコトニハ贊成ガアリマス
〔アリマセヌ〕ト呼フ者アリ
○議長(楠本正隆君) 贊成ナキヲ以テ、三條マデ御動議ガナクバ可定ト認メマス
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(楠本正隆君) 次ハ四條、朗讀
〔町田書記官朗讀〕

第四條 免許ヲ受ケタル行政廳ノ管轄以外ノ地ニ於テ營業所又ハ店舗ヲ設ケントスル時ハ更ニ其地行政廳ノ免許ヲ受クヘシ
營業所又ハ店舗ヲ設ケルニアラスシテ賣買若ハ交換シタルトキハ古物商ニ非サルモノヨリ買受ケケシクハ讓受ケタル場合ニ限リ其ノ品目ヲ其地ノ行政廳ニ届出ヘシ但官衙公署ノ公賣品及質業者ヨリ買受ケタルモノハ此限ニアラス
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(楠本正隆君) 御異議ガナクバ可定ト認メテ、次ニ移リマスル、次ハ第五條ヨリ十二條マデ、是ハ修正モゴザイマスルガ、多ク字句ニ關係シタルコトデゴザイマス、一年ヲ六箇月トシタルコトダケガ意味ガ違ヒマスガ朗讀ヲ省キマス
○高橋安爾君(百六十五番) 今ノ御宣言デハ字句ニ關係シタルコトデアアルカラ、字句ニ關係シタル修正ガゴザイマスカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○高橋安爾君(百六十五番) ちよつと第八條ノ第二項ニ修正ヲ加ヘタイ「前項ノ物品ニシテ警察官ニ於テ未ダ消毒セサルモノト認ムルトキハ云々」トゴザイマスルノヲ頭マニ「警察官」ト冠リマシテ「警察官ハ前項ノ物品ニシテ未ダ消毒セサルモノト認ムルトキハ云々」ト斯ウ改メマセヌト、此法文ガ少シ曖昧ニ出來テ居ルデ、即チ警察官ガ消毒ヲセヌカノヤウニちよつと見エマス、ソレ故ニ「警察官ハ前項ノ物品ニシテ云々」ト云フコトニ改メマシテ、此法

衆議院議事速記録第十八號 明治二十八年一月二十六日 古物商取締條例改正法律案 第一讀會ノ續 第二讀會 二六三

文ヲ完備シタイト考ヘマス

○議長(楠本正隆君) 第八條ノ二項ニ「警察官」ト云フ三字ヲ加ヘルト云フ高橋安爾君ノ修正

○高橋安爾君(百六十五番) ちよつと加ヘルノデハゴザイマセヌ、詰リ字ガ上ニ行ッタリ下ニ降ッタリスルノデ「警察官」ハ前項ノ物品ニシテ未タ消毒セサルモノト認ムルトキハ「ト斯ウ改メマス」ノデアリマス

○議長(楠本正隆君) 二十名ノ賛成ヲ要シマス

○議長(楠本正隆君) 問題ト爲リマシタ

○議長(楠本正隆君) 七條マデハ別ニ御異議ハゴザイマセヌカラ、七條マデハ可定トシ、第八條ノ朗讀ヲシテ決ヲ採リマス

○議長(楠本正隆君) 八條ハ御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(楠本正隆君) 第二項ニ就イテ修正ノ決議ヲ採リマス、高橋君ノ修正案、右ニ同意ノ諸君ハ起立

○議長(楠本正隆君) 少數ト認メマスル、原案ニ決シテ、次ハ第九條ヨリ十二條マデニ議題トナシマス

○議長(楠本正隆君) 御異議ガナクバ可定ト認メマスル、次ハ十三條ヨリ十六條マデニ修正ハ朗讀ヲ省キマス

○議長(楠本正隆君) 御異議ナクバ是モ可定ト認メマス、次ハ十七條ヨリ結末ニ至ルマデ……

○小西甚之助君(六十三番) 私ハ是ヲ十七條中ニ在ル所ノ「被害者」ト云フ此文字ガ二タ所アリマスガ、是ヲ何レモ「所有者」ト修正ヲ致サント云フ考デアリマス、矢張是ハ委員ノ修正案ニ對シテナス所ノ修正デゴザイマス、此被害者ト云フモノヲ所有者ト云フ字ニ換ヘル所以ハ、全ク單簡ナ理由デ彼ノ贓物ニ係ル場合ノ如キハ、被害者ト云フノガ適當デゴザイマスケレドモ、遺失物ニ係ルトキニ於テ被害者ト云フコトハ、少シ穩當ヲ缺クヤウニ思フノデゴザイマスカラシテ、是ヲ修正スルニ外ナラヌノデアリマス

○章刈親明君(二百一十八番) 私モ十七條ニ就キマシテ修正ヲ致シタク存シマス、十七條ノ「警察官」ニ於テ是ヲ徵收シ「トアル下ニ「假リ」ニ「三字ヲ挿入シマシテ、ソレカラ未タ」ノ若シ被害者知レサルトキハ「ト云フ、此文章ヲ悉ク削除スル、斯ウ云フ意見デゴザイマス、抑、質屋條例——質屋取締條例改正案及古物商取締條例改正案ニ附キマシテハ、隨分ニ激烈ナル運動ガゴザイマシテ、本年デノ問題中國立銀行處分案ト其次ニ位スルノハ此案ダト云フコト

ハ、承知シテ居リマス、事務所ナドヲ設ケテ隨分議員ヲ訪問スル人モアレバ、趣意書ヲ發スルモノモアルサウデゴザイマス、私ノ意見ガ或ハ行レヌカ知レマセヌガ、唯今ノ通り修正致シマス、其理由ハ斯ノ如ク「被害者ニ還附スルコトヲ得」ト書イテアリ「若シ」以下ノ文字ヲ存シテ置キマスル場合ニハ、甚ダ不都合ヲ生ズルデアラウト思ヒマス、サウシテ私ノ申シマスル如ク、修正致シマシテモ、當業者ニ取リマシテハ、少モ差支ガナク、所ガ當業者ハ素ヨリ此法ヲ御同意デアルト云フコトハ、角田委員長ヨリ拜聴致シテ居リマシタガ、政府委員ガサウサレテハ絕對的ニ此法律案ニ反對シナケレバナラヌ云フ御意見ガゴザイマシタカ、ソレガ私ニハ分ラヌノデアリマス、ソコデ修正ヲ致サウト思フ、一體先キノ角田君ノ御説ニハ刑法第五十條以下ヲ見テ、サウシテ衆議院ハ立法部デアルト云フコトヲ考ヘネバ、此被害者ニ還附スルコトモ沒收處分ヲ致シマスルコトモ、裁判官ノ權利ヲ奪フモノデアリト云フコトヲ仰セデゴザイマシタガ、是ハ角田君御自身デ仰セニナッタノデアリゴザイマセヌ、角田君ハ其會ノ意見ヲ代表シテ、會ノ意見トシテ御述ニナッタモノト信ジマス、一體總令立法者デゴザイマシテモ、既定ノ權利則チ既定ノ法律ヲ以テ與ヘマシタ權利ハ、是ヲ奪フコトハ出來ナイト云フコトハ、素ヨリノコトデゴザイマス、裁判官ノ特權ニ此沒收ノ權利ト云フモノガアルトシマスレバ、其後ニソレヲ改メマセヌデハ裁判官ノ權利ヲ害スルコトハ出來ナイト思ヒマス、ソウシテ此場合ニ於キマシテ、「假リ」ノ文字ヲ入レマセヌモ、更ニ事ニ害ガナイ、害ガナイノミナラズ、「假リ」ノ文字ヲ入レマセヌデハ、甚ダ不都合ガアラウト私ハ心配致シマス、例ヘテ申シマセウナラバ、警察官ガ贓物ナリ遺失物ナリト考ヘテ、サウシテ是ヲ被害者ニ還附シテ仕舞フ、其後ニ其事件ガ裁判所ニ參リマシテカラ、無罪ト爲ッタナラバ、ドウ致シマス、無罪ニナッタトキニハ警察官ノ處分デ——警察官ノ處分贓物ナリトシテ、被害者ニ還付シテ仕舞フ、其後ニ其者ガ無罪トナリマシタナラバ、更ニ其被害者ト認メマシタモノカラ、此贓物ト認メマシタモノヲ取還シテ、サウシテ其被告人ニ其物品ヲ返還シナケレバナラヌコトニナルノデアリマス、是ハ理窟モ何モノナイコトデ、斯様ニ相成ルト思ヒマス、ソレカラ「若シ」以下ノ文字ノコトニ就キマシテハ、先刻角田君ハ被害者ガ知レナイトキニモ、贓物モアレバ質物モアルト申サレマシタ、成ル程明治七八年頃ノ裁判官ハ角田君ノ言フ通ノ盜シタモノガナクテモ、泥坊ガ盜シタモノダト言ヘバ、其者ヲ裁判致シマシタガ、今日ハサウ云フコトハナイノデアリ、縱令盜ミマシタト云フコトヲ白狀致シテモ、盜マレタモノガゴザイマセヌケレバ、其者ガ處分ニナラナイ、成ルベキ道理ガナイ、何トナレバ被害者ガアツテ始メテ罪ガ生ズルモノデアリマスカラ、被害者ガナケレバ罪ト云フモノハ生ジナイ、所ガ被害者ガ知レナカッタナラバ、被害者ガナイモノトアルノデアリゴザイマス、故ニ此被害者ノ知レナイ所ノ贓物若クハ遺失物ガアルベキ道理ガゴザイマセヌ、勿論遺失物ト云フモノニ就イテハ被害者ガ知レナイトキハ、道ニ遺チテ居ッタ物ノ、其遺シ主ガ知レナイトキニ、既ニ此物ヲ自分ノ物ナリトシテ、所得シテサウシテ是ヲ質物ト致シマシタ以上ハ、則チ遺シ主ガ知レマセヌカラ、其質物ニ入レタモノヲ所有者ト認メヌケレバナラヌト云フコトハ、素ヨリノコトデゴザイマス、故ニ此條項ハ害ガゴザイマシテ、則チ或

ハ警察官ニ越權ノ處分ヲ與フルト云フヤウナ嫌ガゴザイマス、サウシテナク
 テモ差支ナイモノト信シマス、故ニ是ヲ削除致シタイ考デゴザイマス、併ナ
 ガラ前申シマシタ通、御運動ノ結果如何デアリマスカ、私ノ關スル所デナイ
 ○守屋此助君(百一番) 私人諸君並ニ政府委員諸君ガ御聽ニナレバ、大膽不
 敵ノ論ヲト云フ御考ガアルカ存シマセヌガ、併シ私ノ良心ガ命ズル所ニ依
 テ考ヘマスレバ、此十七條ハ全然削除シナケレバナラヌ、斯様ニ考ヘマス、
 委員長ノ報告ハ聽キマセヌデゴザイマシタガ、唯今ノ草刈君ノ御演說ヲ聽イ
 テ見ルト、政府委員ハ此十七條ヲ削ルノナラバ絶對此古物商ノ此法律ニハ全
 然まるデ反對デアアルト斯ウ言ハレタ、是ハ私ノ考デ見ルト云フト、如何ナル
 理窟カラサウ云フ理窟ヲ持出シタデアアルカ、如何ナル法理ガ左様ナコトヲ申
 スノデアアル、政府委員ハ法律ノ觀念ト云フコトヲ拔キニシテ、仰シヤルナラ
 バ、ソレデ宜イ、政府委員ノ中デモ末松君ノ如キ己ノ精神ニハ如何ナルコトモ
 或ハ御承知デアアツテモ、妙ナ不理窟ヲ專門ニナサル政府委員ナラバ、是ハ馬耳
 東風ニ聽流ガシテ宜シイ、併シ此事ニ就イテハ内務省ノ方ノ政府委員ガ仰シ
 ヤツタノデアアル、内務省ノ政府委員ハ末松君ヨリハ幾ラカ道理ノアルコトヲ
 言フ政府委員デアアル、ソレデ此政府委員ニシテ其言ガアルカラ、私ガ怪訝
 ニ思フカラ、一言シナケレバナラヌ、ドウデゴザイマス、是ガ政府委員ノ諸
 君ニ於テモ法律ニ合フト思召スカ、一時ノ權道ヲ斯ノ如クシテ不正品ヤ何カ
 發見スルタメニ法理ニ背イテモ、斯ウ云フコトヲ一ノ略トシテ御考デアアル
 カ、略ト云フ觀念ノ方ガ、人ノ所有權ヲ侵害スルノ怪シカラヌモノデアアル
 ト云フコトヲ、御承知デアゴザイマセウ、サウ申シマス、悉ら私ガ話ヲ大キ
 クシタガルヤウデアゴザイマスケレドモ、憲法上ニ於テ個人ノ所有權ハ侵害サ
 ル、コトナシトアル、ソレカラ當リ前ノ民法ノ所有權ノ論ニ於テモドウデゴ
 ザイマス、動産ニ於テハ即時ニ期滿效ガアルト云フコトハ何處ノ國ニ於テモ
 爭ハレヌコトデアアル、即時ノ期滿效ト云フモノハドウシテモ認メナケレバ
 ラヌ、ソレデアゴザイマスケラ、世ノ中ノ不動産ニ屬スルモノハ、登記法ノ如キ
 公ノ手續ヲ經ナケレバナラヌカラ、ちやんと知レテ宜イ、動産ノ方ハ……轉輾
 トシテ移ツテ往ク時ニハ、其品物ニ傷ノ付カナイモノデアアルト、いつデモ見
 ナケレバナラナイ、然レ所デソレガ事情附ノ品物デアアルト云フ場合ニ於テ
 ハ、今日ノ現行法ニ行レテ居ルガ如クニ公商公買ノ手ヲ經タ物ハ、其代價
 ヲ償ハナケレバ不正品ト雖モ元ヘ取還スコトハ出來ナイ、是デスラ餘程理窟
 ハむづかしい話デ、世ノ中ノ動産ノ流通ト云フコトヲ餘程害スル云フ私
 ノ觀念デアアル、併シ此法律ニ至ツテハ最モ甚シイ、是ナラバ絶對ニ古物商ヲ
 禁止シテ仕舞フガ宜イ、古物商ヲ禁止シテ仕舞ヘバ、泥棒ガ取ツタ物ヲ買人
 ガナイカラ、泥棒ガ止ム、併シ左様ナ極端ナコトヲシタラ、世ノ中ハドウ
 デゴザイマス、是ハ泥棒ノ害ヲ幾分ノモノヲ防グト云フタメニ、古物ノ賣
 買ト云フ事柄ヲ止メレバ、世ノ中ニ古物商人ト云フ者ガ少ナクナレバ、古物
 ノ相場ガ下ガルノデアアル、世ノ中ノ古物ノ代價ガ下ガルト云フ事柄ノ害ト云
 フ事柄ガ甚シイカ、是ガタメニ古物ノ中——千百ノ中二三ノ泥棒ノ害ト云
 フ者ト云フツカまへるト云フ利益ガ大ナルカ、全般ノ古物ノ代價ヲ是ガタメニ
 下ゲル害ガ、大ナルカラ考ヘレバ、利害論カラ言フテモ斯ウ云フ法律ハ置
 クベキモノデアナイ、ソレデアハ此店頭ニ營業鑑札ヲちやんと打ツテ、而シテ品

物ヲ賣ル店ガアル、此店デア買フテ來タ物デモ、何人ノ手ヲ經テモ、五人デモ
 八人ノ手ヲ經テ居ル、テモ、贓物タルヲ免カレマセヌガ、公商ノ手ヲ經テザ
 端ノ方カラ買フテ居ル、古物商ガ買フテ居ル、テモ、取上ゲルト云フコトデアハ、
 古物商ハ如何ニシテ安シテ往キマス、ソレカラ最モをかいコトハ裁判官
 ガ取ルナラバ、マダノ宜イ、然レ所ガ警察官ガ行政ノ處分デア取ルノデアゴザイ
 マセウ、是ハ雙方ノ辯論ヲ聽キ、辯護士ヲ出シテ辯論ヲサセルト云フモノデ
 モナク、人ノ所有權ハ裁判デスラ十分ニ辯論ヲ聽イテカラデナケレバ取ルコ
 トガ出來ナイ、憲法ニモ吾人ノ所有權ハ侵害サレルコトナシトアル、然レ所
 スウ云フモノ警察官ニ於テどんノ徵集シ、而シテ還附シテ仕舞フト云フ、
 詰リソレカラ後頭之レヲ沒收シテ仕舞フ、斯ウ云フ最大無上ノ權利ヲ警察
 官ニ置クト云フト、如何ナル弊害ガ出テ來ルカ、警察官ノ所爲ニ對シテハ控
 訴ハ出來マセヌ、上告ガ出來マセヌ、裁判官ハ原被ノ辯論ヲ聽イタ後ニ、控
 訴モ許シ、又上告モ許スデアゴザイマセヌカ、又其上ニ再審ヲ許ス手續モア
 ル、然レ何ゾヤ警察官ガ一言ノ下ニ取ツテ、而シテ控訴モ出來ナケレバ上
 告モ出來ナイ、是ハ吾人ノ權利ヲ侵害スルコト甚シイ、古物商ガ立派ニ代價
 ヲ拂フテ、其上營業者カラ買フタノデモ取ル、斯様ナ亂暴ナ法律ガ存スル譯
 ハナイ、私ハ政府委員ガまじめニ此條文ヲ削ルナラバ、絶對ニ反對スルト云
 フナラ反對シテ御覽ナサレ、左様ナ亂暴ナコトヲスルニ於テハ衆議院ハ衆議
 院ノ權能ヲ讓シテ往キマセウ、ソレデアモ政府ハ反對ナサルナラ爲サツテ御覽
 ナサレ、私ハ頗ル過激ナ言葉ニ涉ルヤウデアゴザイマスケレドモ、警察官ニ斯
 様ナ權利ヲ持タセルニ至ツテハ、私ハ飽クマデモ良心ニ於テ是ナリト認メナ
 イ、前ニ申ス通り斯ウ云フ事柄ニ就イテハ、篤ト政府委員ニ於テモ一部分ノ
 泥棒ヲ捕ヘルト云フ一部分ノ意味ノ所ヘバカリ目ヲ御注ギニナツテ、警視廳ノ
 方ニガ何カ考ヘル一部分バカリノ御考デナク、今少シ廣ク考ヘテ戴キタイト
 云フコトデアアル、若シ言葉ガ過激ニ失シテ敬禮ヲ缺グト云フナラバ、議場ニ於
 テモ御容赦ヲ願ヒマス、私ハ固ク信ジテ居ルコトデアゴザイマスケラ、以上ノ
 事ヲ以テ全部ヲ削ルト云フコトニ致シタイ
 ○高橋安爾君(百六十五番) 私ハ此紛々タル議論ノ中ニ一ノ修正說ヲ提出シ
 タイノデアリマス、十分大キナ聲ヲ出シタガ、ソレ程邪魔ニ致シタ
 十七條デモナカラウト思ヒマス、極テ必要ナル法條ト考ヘル唯惡ルイ所ヲ直
 シテ往キサヘスレバ、立派ニ用井テ行カレルノデアアル、デ私ノ修正ノ意見ハ
 即チ警察官ニ於テ之ヲ徵收シ、假ニ被害者ニ還付スト云フ點ニ就イテハ、
 草刈君ト同一デアゴザイマス、ソレカラ「若シ」以下被害者ノ知レヌ時ニハ、徵收
 シタル日ヨリ三年ノ後——三年デアゴザイマセヌ、一年ノ後官沒スルト云フ
 コトヲ廢シマス、官沒スルコトヲ廢シマシテ、害ヲ受ケタ質屋ノ物ニスルト
 云フ意味ニ訂正シタイ(草刈親明君「若シ」以下ヲ取ツテ仕舞フ、タラ宜カラウ)
 ト呼フ)ソレデア草刈君ノ說ヲ贊成致シマス理由ヲ述ベマセウ、ソコデ諸君
 ハ一體法案ヲ議スルニ當ツテ……
 ○議長(楠本正隆君) 高橋君——マダ定數ニ滿チマセヌカ、確メマセウ、草
 刈親明君ノ「假ニ」ノ二字ヲ入レテ「若シ」以下ヲ削ルト云フニ贊成ガアリマス
 ガ

○議長(楠本正隆君) はつきり賛成ヲ言フテ貫ハネバナラヌ

(賛成々々)「採決々々」ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) ドウモ定數ニ滿タヌヤウデゴザリマス、小西君ノ「被害者」ト所有者ト改ムルト云フコトハ、如何デゴザリマス

(賛成々々)ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 小西君ノ修正ハ成立シタモノト認メマス

○高橋安爾君(百六十五番) サウスルト、草刈君ノハドウデゴザイマスカ

○議長(楠本正隆君) 草刈親明君ノ修正説ニ賛成者ハ起立ヲ願ヒマス

起立者

(水野書記官長起立者ノ數ヲ算フ)

○議長(楠本正隆君) 稍ク定數ニ滿チテ成立致シマシタ

○高橋安爾君(百六十五番) 此席ニ於テ述ベマスルガ、ドウモ私ハ此法律案ヲ議スルニ就キマシテハ、モソツト鄭重ニ諸君ニ御考ヲ願ヒタイノデアアル、實ニ輕々ニ目ノ廻ルヤウニ過ギテ仕舞フ、左様ナコトデハ實ニ人ノ權利ニ關シマスル事柄ヲ議定スルニ甚ダ私ハ不満足ニ思フノデアアル、第十七條ニ「遺失物若クハ贓物ニ係ルトキハ營業者ヨリシタルト否トヲ問ハス警察官ニ於テ之ヲ徵收シ假リニ被害者ニ還附スルコトヲ得」ト斯様ニ訂正致サネバナラヌト云フ理由ハ、原案ニ遺失物若クハ贓物トゴザリマスルガ、是ハ思フニ委員會ハ分り易クスルタメニ、重テ斯様ニ書イタモノデゴザリマセウカラ、私ハ均シク贓物トナツテ居ル品物デモ、矢張此遺失物若クハ贓物ト書イテアル原案ヲ利トスルノデアアル、然ルニ被害者ニ還附スルコト云フコトニ就キマシテハ、所有者ニ還附スルコト云フコトニ改メタガ宜イト云フ説モアルケレドモ、是ハ少數ニシテ成立ツベキ説デハゴザリマセヌ、而シテ此被害者ノ知レタ場合以下ヲ削リマシタ趣意ハ、ドウモ公訴ノ期滿免除ト云フモノハ御承知ノ通り三年ト云フモノハアルノデアアル、デ此三年ノ間ニハ被害者ガ成規ノ手續ヲナスコトガ出來ルコトニナツテ居ルノニ、一年ヲ以テ官沒スルト云フコトハ、どうモヒドイ話デアアル、若シ此品ガ將來結局分ラナラバ、ドウモカト云フトキニハ、官沒スルガ至當デアアルカ、或ハ相當ノ金錢ヲ出シテ買ッタ人ニヤルノガ相當デアアルカ、其點マデモ原案ニ既ニ官沒スルト云フコトガ書イテアル以上ハ、論及セヌケレバナラヌノデアアル、私ハ一年ニシテ官沒スルト云フコトハ不當ナルノミナラズ、縱シ三年ニ致シヤウガ五年ニ致シヤウガ、官沒シテ以テ買ッタ人ニ損害ヲ掛ケルコト云フコトハ甚ダ不都合ナコトデアアルト信ズル、成ル程警察官ガ贓物ト認メタ、素ヨリソレ等ノ認定權ヲ以テ時ニ相當ノ警察權ヲ行フコトハ是認セネバナラヌノデゴザリマス、社會ノコト、云フモノハ種々多デゴザリマスカラ、警察官ニ斯様ナ權利ヲ與ヘテ置クト云フコトモ亦被害者ヲ保護スルト云フ點カラ言ヘバ、必要ナコトデゴザリマス、併ナガラ是ガ贓物ト云フコトニ裁判ノ確定シタモノデモゴザリマセヌノナラバ、社會ガ以テ是ガ贓物ト云フコトノ事實ヲ動かサヌマデノ公然タル手續ヲシテゴザリマセヌ、其品物ヲ何ノ理由ガアツテ質屋カラ之レヲ三年過ギタナラバ、官沒シテ仕舞フト云フコトニナルデゴザリマセウ、三年ニ致シマシテモ一年ニ致シマシテモ、其歸スル所ノ道理ト云フモノハ同一デアアル、シテ見マシタナラバ、法律デ以テ官沒ノコトヲ規定シテ別ニ國家ノ歲

入ヲ殖スト云フヤウナ考ハ勿論、此法律ノ上ニナイコトデゴザリマスルカラ、斯ノ如キ動産物ニ對シマシテハ、被害者モ知ラヌ、何モ犯罪トシテ事實ガ確定致シマセヌ、其場合ニ於テ縱令之レヲ最初贓物デアアルト認メテ、サウシテ本條ニ規定致シマス手續ヲ警察官ガ致シマシタトシマシテモ、遂ニ社會ハ其犯罪者ヲ出スコトガ出來ナカッタ、認ムルコトガ出來ナカッタト云ヒマスルナラバ、多少疑點ヲ其物品ノ上ニ置クニ致シマシテモ、質屋營業者ガ古物營業者ガ相當ノ價ヲ出シテ買ッタ品物デゴザイマスレバ、古物商ノ手ニ歸セネバナラヌモノト私ハ考ヘル、斯ノ如キ次第デゴザリマスルカラ、法律ノ箇條ヲ十モ二十モいっよくたニ致シマシテ、さあ〜ト云フヤウナ掛聲デ、さつさつヤツテ行クト、大變ナ間違ガ起リマス、則チ吾々ハ十分ニ其職ヲ盡サヌコトニ相成ラウト思ヒマスカラ、黨ク本條ノ修正ハ諸君ニ於テモ吾々ノ賛成スル所ノ修正説ニ御賛成アツテ、成ルベク完備ナル法律ヲ作出スコトニ御力メアラシコトヲ希望致シマス

○山田泰造君(二十六番) 修正文ハ何ト云フノデス

○高橋安爾君(百六十五番) 修正文ハ「被害者ニ還附スルコトヲ得」若シ以下ヲ削除スル...

(政府委員内務省土木局長都筑警六君演壇ニ登ル)

○政府委員(都筑警六君) 曩キニ議題トナツテ居リマスル「被害者」ト所有者ト變ヘル、縱令此被害者ト云フ文字ガ遺失物ニ關シテ多少穩ナラザルニモセヨ、之レヲ變ヘテ所有者トスルト、隨分遺失物ニ方ハ困ラウト思ヒマス、ト申スモノハ所有者デナクモ、矢張遺失者ガアル、遺失主ト云フモノハ必シモ所有者デナシ、ソレカラ又遺失物規則ヲ御覽ニナリマスレバ、得者ト云フ者ニ一種ノ權利ガ付イテ居リマス、得者ノ權利ヲ害サレタ時ニモ適用出來ルヤウニハ、拾得者ノ權利ヲ害サレタトキニモ適用スルコトガ出來ルヤウニスレバ、旁々所有者デハ狄イヤウニ考ヘマス、モウ一ツ草刈君ノ修正説、且ツ守屋サンカラ御質問ノ御論モゴザイマシタガ、元來我既成商法ノ五百二十六條ヲ御覽ニナリマシテモ、二百八十條ヲ御覽ニナリマシテモ、則チ其動産ノ買賣若クハ質入ニ關シテ設ケテアル所ノ規定ヲ御覽ニナリマシテモ、贓物若クハ遺失物ニ關シテハ有效ノ取引ハ出來ナイト云フ商法ノ原則ニナツテ居リマス、ソレデハ獨リ我商法ノ原則ナルノミナラズ、餘所ノ法律モ此原則ヲ執ツテ居ルモノガ、新シイ法律ニハ多イト思フテ居リマス、例ヘバ獨逸帝國ノ民法草案モ、矢張盜品若クハ紛失品ニ關シテ有效ノ取引ハ出來ヌ、絶對的ニ出來ナクナツテ居ル、獨リ古物商若クハ質屋ニ關シテ或ル程度マデ有效ノ取引ヲ許スベキ謂レガナイノミナラズ、特ニ此質屋若クハ古物商ニ關シテ其取引ノ無効デアルト云フ方ノ原則ヲ嚴重ニ執行スルノ必要ガアラウト思ヒマス、ソレハ獨リ質屋若クハ古物商ノ營業ヲ取締ル上カラノミナラズ、併テ被害者ヲ保護スル點カラ是ヲ他ノ營業ニ比スレバ、稍々嚴重ニ取締ル必要ガアラウト思ヒマス、且ツ又最前角田君カラモ御述ニナリマシタ通り、旅行先トカ何トカ云フヤウナ危急ナ場合ニハ、警察官ニ此職權ヲ與ヘテ置キマセヌデハ、隨分被害者ガ困ラウト思フ、而シテ今日始テ設ケル箇條ナレハ免モ角モ、今迄現行ノ法律ニ此古物商取締條例ノ二十一條ヲ置イテアルノデゴザイマス、ソレデ是迄不便モ感シマセズ、之ガタメニ格段ナ不都合ト云フモノモアツタ

コトモナイノデゴザイマスカラ、是非ハ存シテ置キタイト云フコトヲ一言シテ置キマス

○草刈親明君(二百二十六番) 唯今ノ都筑君ノ御説ニ就イテちよつと一言述べたい(「決ヤ」ト呼フ者アリ) 遺失物ノ規則ニ依ッテ見マスト、一年後ニ遺シ主ガ知レマセヌ時ニハ、拾ッタ者ニ與レルト云フコトニナッテ居ル、ソレハ一年後デス、一年タツテモ遺シ主ガ分ラヌト云ヘバ、拾ッタ者ニ與レルト云フコトニナッテ居ル、所ガ此十七條ニ依ルト拾ヒ主ガ知レテモ、被害者ガ知レナイ時ハ官沒スルト云フノデスカ、現行ノモノト十七條トハ抵觸スルヤウニ思フ、ソレカラ今一ツハ期滿免除ト云フモノモ二年ニナッテ居リマスガ、然ルニ一箇年過去ツタカラト云ッテ、之ヲ官沒シマスコトニスルト、三年ノ後其被害者ガ知レテ、サウシテ刑事ノ訴訟デモ——民事ノ訴訟デモ起ッテ、物品ノ取戻ト云フヤウナ時ハドウ云フ結果ニナルノデアリマスガ、則チ期滿免除ノ間ニ——期滿免除ノ經過セヌ中ニ、被害者ガ知レヌカラト云フテ、之ヲ官沒シマスナラバ、三年ノ後ニ私ガ被害者デアルト云フテ現レテ出テ參リマシタ者ノ所有權ヲ侵スコトニナリハセヌカ、其御説明ヲ願ヒマス

○小西甚之助君(六十三番) 私ノ修正説ニ對シマシテ、政府委員ノ御説モゴザリマシタガ、詰リ私ノ修正説ト云フモノハ、之ヲ還附スル場合ニ係ルコトデアッテ、既ニ之ヲ還附スレバ彼ノ遺失物ナドノ場合ニ於テ所有者ニ還附スルコトハ勿論ノコトデゴザイマスカラ、何モ得者云々ニ關係ハ少シモナイト私ハ存シマス

○草刈親明君(二百二十六番) 政府委員ノ答辯ヲ求メマス
○政府委員(都筑警八君) 拾ヒ主ニ還附スルコトハ得ルノデゴザイマス、ト云フモノハ一年タテバ官沒スルコトヲ得ル、必シモ官沒シナケレバナラヌト云フノデハゴザイマセヌカラ、其時ニ拾得者ガ出レバ拾得者ニ還スコトモ出來マス

○議長(楠本正隆君) 決議ヲ採リマス、十三條ヨリ十六條迄ハ御異議ハナイト認メマス
〔異議ナシノ聲起ル〕

○議長(楠本正隆君) ツレヨリ第十七條——十七條ハ「假リニ被害者ニ還附スルコトヲ得」ト致シテ、以下ヲ削除スルト云フノガ、草刈親明君ノ修正説、ソレカラ小西甚之助君ノ「被害者」ヲ「所有者」ト改ムルト云フノデ、先ヅ草刈君ノ修正説ヨリ決ヲ採リマス、ツレヨリ小西君、ソレヨリ委員説、ソレヨリ原案ト云フ順序ヲ逐ヒマス、草刈親明君ノ修正説ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數
起立者 多數
議長(楠本正隆君) 多數——次ハ小西甚之助君ノ修正説ニ同意ノ諸君ハ起立

十五條迄、御異議ガナクバ……
〔異議ナシノ聲起ル〕

○議長(楠本正隆君) 可定ト認メマス
○恒松隆慶君(七十番) 本案ハ此場合三讀會ヲ略シテ二讀會ヲ確定シタイ、十七條デハ「やゝのまゝ」ノ議論モアリマシタガ、詰リ修正ハ成立タナカッタノデゴザイマスカラ、ドウカ省略ト云フコトニ願ヒマス
〔異議ナシノ聲起ル〕

○議長(楠本正隆君) 御異議ガナイト認メテ、直ニ請求ニ依ッテ三讀會ヲ開キマス
古物商取締條例改正法律案 第三讀會

○議長(楠本正隆君) 朗讀ハ省イテ該案ヲ一括シテ議題ニ供シマス
〔異議ナシノ聲起ル〕
○議長(楠本正隆君) 確定議デゴザイマス、該案ニ同意ノ諸君ハ起立
起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 大多數——次ハ第九——第八明治二十三年法律第百二號刑法附則中改正法律案
第八 明治二十三年法律第百二號刑 第一讀會ノ續(特別委員)

○議長(楠本正隆君) 委員長故障ニ附キ重岡薫五郎君
〔重岡薫五郎君演壇ニ登ル〕
○重岡薫五郎君(百八十五番) 諸君、委員會ノ經過ヲ報道致シマス、委員會ニ於キマシテハ本案ニ就キマシテ先ヅ年々増加シマス所ノ裁判ノ費用ヲ成ルベク節減スルト云フ所ノ方針ヲ取ラナケレバナラヌト云フ精神デアリマス、次ニ又節減ヲ行フト同時ニ、證人醫師、鑑定人、通譯人、其他ノ權利ト云フモノヲ保護シテ往カナケレバナラヌト云フ精神デアリマス、此二精神ヲ相折衷シマシテ、以テ本案ノ修正ヲ致シタ次第デゴザリマス、テ其精神デゴザリマスカラシテ、諸君ニ於テ御期讀ニナリマシタナラバ、一目瞭然デアラウト思フ、唯愛ニ注意シナケレバナラヌノハ、第五十條ノ改正デゴザイマス、是ハ元ノ原案ニハ更ニナカッタノデゴザイマスガ、此改正モシナケレバナラヌト云フ所ノ必要ガ生ジテ來タ、其譯ハ是迄證人、鑑定人又通譯人ナドノ旅費日當其他ノ費用ニ就キマシテ請求スルノ權利ニ就イテ、更ニ制限ハナカッタ、然致シマシテカラニ、或ハ三年、五年、六年モタツテ後ニナッテ、斯クミミノ費用ガ——旅費ガアツタト云フテカラニ、請求スルコトガゴザリマスタメニ、裁判所ニ於キマシテ大ニ手數ガカ、ツテ、是等ノ制限ヲシナケレバ到底往カヌト云フ次第カラシマシテ、先ヅ豫審ニ於テハ其終結前、又公判ニ於テハ其判決前ニ此費用ノ請求ヲシナケレバ日當其他旅費ノ金額ヲ給シナイト云フコトニシマシタノデゴザイマス、先ヅ委員會ノ經過ハ其次第デゴザイマスカラ、何か質問デモゴザイマスレバ、御答辯ヲシマス

○谷澤龍藏君(十五番) 此二十錢乃至五十錢ノ範圍内ニ於テ費用ヲ定ムルト云フコトデゴザイマスガ、是ハ裁判所ニ於テドウ云フヤウナ方針ニ依ッテ定ムルト云フノデゴザイマスガ、又大體ニ費用ヲ節減スルト云フ趣意カラ此案

ヲ起シタト云フノデゴザイマスカ、四十九條ノヤウナコトニ致シマスレバ、費用ガ増スト云フヤウナ結果ニナリマセヌカト思フ、大體ノ費用ノ見積リ何ヒタイ

○重岡薫五郎君(百八十五番) 御答辯ヲ致シマスルガ、斯ノ如ク致シタカラシテ、却テ費用ガ増サナイカト云フ御心配ガアリマセウデスガ、是迄ノ法律ニ依リマスレバ、五十錢ト云フ所ノ定額ニナツテ居ル、五十錢ハドウデモ斯ウデモ給セナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、ケレドモ併シ此改正法案ニ依リマスレバ、二十錢マデハ下スコトガ出來マスカラシテ、大ニ裁判所ノ手心ヲ輕減スルコトガ出來ルノデアラウト考ヘマス、ツレカラ又始ノ御問デゴザリマスガ、裁判所ハドウ云フ方針ニ依ツテ之ヲ極メルカ、是ハ裁判所ノ權限ニ任ジタ次第デゴザイマスカラ、本員ヨリ之ヲ答辯スルコトハ心づかーウゴザリマス

○沼田宇源太君(二百八十八番) 唯今谷澤君ガ御質問ガアルヤウデゴザイマスガ、修正案ニ依ツテ見マス「豫審判事又ハ裁判所」ト云フコトニナツテアリマスケレドモ、此立法者ノ考トシテハ地方ニ依ツテスルノガ相當デアアルカ、若クハ又此人間ナラバ五十錢、此人間ナラバ二十錢ト云フヤウニ人間ニ依ツテ區別スル精神デアアルカ、其立法者ノ精神ト云フモノハ一應承ルコトガ出來ヤウト思ヒマス、ツレカラモウツ承リタイノハ、民事ニ於キマシテハ證人ノ日當ガ五十錢ト云フコトニ極ツテ、居ル、然ルニ獨リ刑事ノ方ニ至リマシテハ五十錢以下二十五錢以上トシテ、民事ノ證人ト相對シテ權衡ノ度ヲ得ナイ様ニスルコトハ、如何ナモノデアアルカ、ツレカラモウツ承リタイノハ、證人ト云フモノハ言フマデモナイ、國家ニ對スル義務トシテ法廷ニ出頭スルモノデアアルカラ、成ルベクダケハ之ヲ鄭重ニシナケレバナラヌ、然ルニ是迄ハ五十錢ト云フコトニ定マツテアルモノガ、或ル地方若クハ或ル人ニ於キマシテハツレニ境界ヲ附ケマシテ、或ハ二十五錢或ハ三十錢ト是迄ヨリ俄ニ減ズルト云フコトニナリマシタナラバ、證人ニ對スル待遇ト云フモノヲ俄ニ減ズルト云フコトニナリハシマスマイカ、此三點ニ就イテ承リタイ

○重岡薫五郎君(百八十五番) 御答辯シマスルガ、先ヅ唯今ノ御問ノ中ノ民事ノ證人ト權衡ヲ得ナイカ、是ハ一向權衡ガ得ルカ得ナイカ、吾々ニ於キマシテハ刑法附則ノ改正ニ就イテ攻究ヲシタ次第デアアルカラシテ、或ハ民事ガ五十錢デアアラウガ、一圓デアアラウガ、三圓デアアラウガ、是ハ是トシテ、免モ角モ刑事ノ證人トシテハ斯ノ如キ範圍ニシタナラバ適當デアアラウト云フ考デシタ、ツレカラ第一ノ御問デシタガ、此地方々々ニ依ツテ此範圍ヲ定メルカ、又ハ人ニ依ツテ其範圍ヲ定メルカト云フ點デゴザリマスガ、是モ裁判所ニ全ク任シタ譯デアアツテ、裁判所ニ於テハ或ハ地方ノ生活ノ程度、又其人ノ地位ニ依ツテ幾ラカ差引ヲ致スデアアラウト云フ考デゴザリマスガ、詰リ裁判所ニ一任シタ次第デアリマスカラ、吾々立法者ガドウ云フコトニスルト云フコトハナイ、免モ角裁判所ノ手心ヲ極メテ差支ナイ、又モウツアツタノハ

何デスネ

○沼田宇源太君(二百八十八番) 斯ウ云フコトデス、是迄ハ刑事ノ證人ハ五十錢トアツタノガ、或ル地方ニ於テ直ニ一或ハ人ニアツテ二十五錢カ、三十錢トシタナラバ、證人ト云フ者ニ對スルノ待遇ヲ俄ニ減ズルコトニナリハシナイカ

○重岡薫五郎君(百八十五番) 委員會ニ於テハ金ヲ下ゲタカラト云フテ、證人ノ待遇ヲ改メルト云フコトハナイ、詰リ今日人民ノ生活ノ度ニ對シテ都合ノ宜イ度合ヲ置カウト云フ考デゴザリマス

○草刈親明君(二百二十六番) 判決前ト申スノハ、言渡前ノコトデアリマスカ

○重岡薫五郎君(百八十五番) 先ヅ委員會ノ考ハ言渡ノ……

○草刈親明君(二百二十六番) サウ致シマスレバ、證人ガ裁判所ニ召喚サレテ審問ヲ受ケル——請求書ヲ書イテモ公判言渡ニナツテ仕舞ヘバ、請求ハ出來ヌ譯デスナ、證人ヲ審問シテ直ニ宣告ヲシテ仕舞フ、其間ニ證人ガ控所ニ來テ、請求書ヲ書イテ貫フ、サウ云フコトハドウ云フコトデ以テ此證人ノ……

○重岡薫五郎君(百八十五番) 御答ヲ致シマスガ、通常サウ云フ場合ハ殆ドナイト云フテモ宜シイト思フ、既ニ證人ノ取調ヲ要シ、或ハ鑑定ヲ要スルト云フ場合ニハ、マダ審理ノ進行中デアアルカラシテ、直ニ證人ノ審問ガ濟ム、ツレニ合シテ判決ヲ下スト云フコトハ殆ドナイダラウト思ヒマスカラシテ——或ハ斯ル弊害ガアルト云フコトノ御考ナラバ、草刈君ガ又修正案ヲ御出シニナツテ、宜シウゴザリマセウ

〔採決ト呼フ者アリ〕

○議長(楠本正隆君) 御質問モ盡キタリト認メマスカラ、決議ヲ採リマス、該案ニ對シ二讀會ヲ開クニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數

○高橋安爾君(百六十五番) ——御朗讀ニナリマセウ……

○内山正治君(二百三十六番) 本案ハ直ニ二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

〔贊成々々ノ聲起ル〕

○議長(楠本正隆君) 二百三十六番ノ動議、直ニ二讀會ヲ開クベシト申ス、御異議ナクバ

〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○議長(楠本正隆君) 二讀會ヲ開クコトニ致シテ直ニ二讀會ヲ開キマス

明治二十三年法律第百二號附則中改正法律案 第二讀會

○議長(楠本正隆君) 此議案ハ委員ノ提出案ハ原案ニ對スルト、箇條モ増シ餘程進シタル修正ニナツテ居リマス、委員ノ修正案ヲ議題トシマス

カ
○議長(楠本正隆君) 全部ヲ議題ニ供シマス

○高橋安爾君(百六十五番) 本案ニ就イテハ別ニ不備ノ點モ見出シマセヌガ、一番終リノ五十條ハ是非修正ヲシテ置カニヤナルマイト思ヒマス、證人、醫師、鑑定人、通辯、翻譯人ノ日當旅費ノ請求ヲ致シマスル手續ノ簡條デア
ルケレドモ、此五十條ハ此通ニシテ置キマス、大變無理ナ法律ニナル、豫
審ガいつ決定スルヤラいつ公判ノ判決ヲ言渡スヤラ分ラヌモノデアアル、殊ニ
豫審ノ如キハ祕密ニ屬スルモノデゴザリマスカラ、其終結決定前ト云フモノ
ハ、他ノ人ニハ一向分ラナイ事柄デアアル、デ公判ニ致シマシテモちよつと唯
今章刈君カラ御質問ノゴザリマシタサウナ差支モ生ズル、ソレ故ニ私ハ本條
ヲ是非「旅費及止宿料ハ豫審及公判トモ其出廷シタル日ヨリ一週間内ニ本
人ヨリ請求スルニ非サレハ之ヲ給與セス」斯ウ云フコトニ修正シタイノデ
ス、修正ノ理由ハソレダケ……

○内山正治君(二百三十八番) 高橋君ト同意デス
○沼田宇源太君(二百八十八番) 本員ハ此全部ニ對シテ反對スル、其理由ハ
唯今……

○議長(楠本正隆君) ソレハ修正ハ成立チマセヌ——五十條ノ修正ハ定數ノ
唯今……

○議長(楠本正隆君) 然ラバ章刈君ノ修正ハ成立シタモノト認メマス——高
橋君ノ修正ハ

(政府委員司法省民刑局長横田國臣君演壇ニ登ル)
○政府委員(横田國臣君) 唯今此五十條ノ修正ガ出マシタガ、政府委員ハ是
ニ贊成ヲ表シテ居ルコトデゴザリマスカラ、一言申上ゲマス、茲ニ此求メ
ル期限ヲ定メマシタノハ、大變道理ノアルコトデゴザリマス、ソレデ是ハ裁
判所デ言渡シタ後トデ求メルコトニナリマス、此費用ト云フモノハ後ニ被
告人ガ犯罪ガゴザリマス、被告人カラ拂ハネバナラヌ、ソレ後トニナ
テ求メルト裁判所デ費用ヲ被告人カラシテ償ヘト云フコトヲ言フデアリマス
レバ宜シイガ、サウハ往カナナイ、ソレデゴザリマスカラ取ルコトガ出來ヌ、
ソレヲ取ルニ就イテハ又何カ手續ヲ經ナケレバナリマセヌ、其上ソレハ裁
判所ニ於テ或ハ證人ヲ訊問シ、直チニ裁判スルコトモゴザイマセウ、是モナ
イト言ハレナイ、豫審デモ其通り併ナガラ縦シ證人ト云フモノガ費用ト云
フモノガ取レルト云フコトヲ知リマス、決シテソレカラノ抜カリノアルモ
ノデゴザイマセヌ、ソレハモウ最初ニ證人ノ費用ヲ取ルコトヲ知ラナイ時代
ニ、證人ノ費用ハヤルヤウニシマシタガ、其後續々求メルヤウニナツテ、是
ガ即チ證人費用ノ殖エル譯デ、今マデハ大概承知スル、承知シマセヌモノハ、
脇ノ者カラ致ヘル、必ズソレダカラ裁判所ニ出ルト云フ時分ニ費用ヲ求メル
ト云フコトヲサヘ言ッテアレバ、裁判所デハ費用ヲヤルコトヲ言渡シマスカ

ラ、決シテ私ハ實際差支ナイコト、考ヘマス、又是ニ就イテハ各裁判所ヨリ
ハドウゾ此期限ト云フモノヲ改メテ吳レナケレバ往カナイト云フコトマデ、
司法省ニハ續々申出テ居リマス、是ハドウカ此儘ニ置カレンコトヲ希望シマ
ス

○高橋安爾君(百六十五番) 實ニ奇怪ナ御説デアリマスカラ、尙ホ政府委員
ノ御意見ニ就イテ申シテ置カネバナラヌ、他ノ簡條ニハ別ニ意見ハゴザリマ
セヌガ、此五十條ヲ此儘ニ存シテ置キタイト云フ御意見ヲ聽キマス、判決
ノ際ニ費用ノコトヲモ判決ニ言渡サナケレバナラヌ場合ガアルカラ、判決ノ
前ニシナケレバナラヌト云フヤウナ御注意ニ聽取リマシタ、併ナガラ是ハ甚
ダ無理ナコトデ、前ニモ申シマス通、豫審ノ決定ト云フモノモ公判ノ決定ト
云フモノモいつ何時ナルト云フコトガ、他人ニ能ク分ツテ居ルコトデゴザイ
マスレバ、分ツテ居ルコトヲ忘ルガ故ニ、執權者トシテ保護セヌト云フ道理
モゴザリマセウ、併ナガラ

○議長(楠本正隆君) 高橋君、提出者ト雖モ辯明ハ許シマスガ、討論ハ穩當
デナイ

○高橋安爾君(百六十五番) 私ハ質問ヲ致スノデアアル、何シロ私ノ意見ガ通
ルヤウニ致シタイト云フノデアリマス、此證人及其他費用ヲ仕拂ハネバナラ
ヌ、請求サレ、バ費用ヲ拂ハナケレバナラヌト云フモノガ現ニアリマスル場
合ニハ、裁判言渡ノ折ニソレ等ノ考ト云フモノハ裁判官ニ於テ十分ニアルベ
キ筈デアリマスルシ、又決シテ手落ノアルコト、モ思ハレヌノデアアル、サウシ
テ見マス、判決前ニ其請求書ガナケレバドウシテモ渡シテヤルト云フコト
ニ困難ヲ致スト云フコトハナイト思ヒマスガ、ソレトモ政府委員ハ豫審ノ決
定ト云フモノハ前以テ人民ニ分ツテ居ラネバナラヌ、公判ノ判決ト云フモノ
モドウカシテ知ルベキ筈デアルト云フノ御意見デ、五十條ノ原案ヲ御維持ニ
ナルノデアアルカ、ソレヲ承リタイ

○政府委員(横田國臣君) 御答致シマスガ、先刻其事ハ十分ニ申シタ積リデ
アリマス、唯出テ來テ訊問サル、カラ其時ニ求メサヘスレバ、宜シイ、モウ
何時デモ取リニ來ルノニスレバ宜シイ、私ハ費用ヲ求メルト云ヘバソレデ宜
シイ、何モ豫審ノ決定ガ分ルトカ分ラヌトカ云フコトハイリマセヌ、自分ノ
出タコトダケハ知ツテ居ル

○章刈親明君(二百二十一番) 横田君ノ先刻ノ御意見デハ、公判ノ場合ハ
言渡前ニ證人ノ旅費日當ノ請求ガ出テ居ラナケレバ判決スルニ困ルト云フコ
トデアアルガ、併シナガラ法律ニ依ッテ見マスルト、證人ノ請求ガゴザイマス
トゴザイマセヌトニ拘ハラズ、控訴裁判所ニ於テハ控訴ノ費用ハ被告人ノ負
擔タルベシト言渡シ、控訴ノ費用ハ被告人ノ負擔タルベシト言渡シタナラバ、
其前ニ何程ノ費額ト云フコトガ分ラヌデモ、更ニ必要ハナイト思ヒマスガ、
ソレトモ何圓何十錢ノ額ガ分ラナケレバナリマセヌカ
○政府委員(横田國臣君) 求メテナイノニ言渡スト云フノハ、私ハ道理上無

理ト思ヒマス、費用ガナイノニ求メレバ之レヲ取ルコトハ致シマセヌ、必シモ取ラネバナラヌト云フノデアアリマセヌ、貫ヒ人ガナケレバ取ラヌデモ宜シイ

○草刈親明君(二百二十六番) 私ハサウデアハナイ……
〔討論終結〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 問題中四十九條マデハ御異議ナイト認メマス

〔異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長(楠本正隆君) 然ラバ五十條ニ對スル高橋君ノ修正案ハ朗讀ノ上決ヲ採リマス

〔町田書記官朗讀〕

第五十條 證人醫師鑑定人通辯人翻譯人ノ日常旅費及止宿料ハ豫審及公判トモ其出廷シタル日ヨリ一週間内ニ本人ヨリ請求スルニ非サレハ之ヲ給與セス

○議長(楠本正隆君) 高橋君ノ修正ニ同意諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(楠本正隆君) 少數ト認メマス、五十條ハ本案ニ決シマス

○關信之介君(百十六番) 本案ハ甚ダ單純デゴザイマスカラ、直チニ三讀會ヲ略シテ確定ヲ致シタイ

○議長(楠本正隆君) 御異議ガナクバ、百十六番ノ動議

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 異議ナシト認メテ、直ニ三讀會ヲ開キマス——朗讀ヲ省キマス

明治二十三年法律第百二號刑法附則中改正法律案 第三讀會

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 是亦確定ト認メマス——次ハ第九ニ移リマス——市島謙吉君——朗讀ヲ省キマス

第九 軍人家族扶助法案(高木正年君外二名提出) 第一讀會

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

軍人家族扶助法

第一條 戰時ニ際シ召集セラレタル豫備役後備役下士兵卒ノ家族ニシテ生活ヲ失フ場合ニ於テハ一箇月一戸金參圓以内ヲ以テ扶助スルコトヲ得

第二條 此法律ノ施行ニ關スル細則ハ内務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第三條 此法律ハ發令ノ即日ヨリ施行ス

〔市島謙吉君演壇ニ登ル〕

○市島謙吉君(十九番) 此案ハ提出者ノ中高木正年君ヨリ説明ヲ致シマセヌ所、同君ハ演說ニハ極テ不便ナル病氣ヲ病ムデ居ラレマスガ故ニ、私ガ代ッテ一應ノ説明ヲ致シマス、本案ハ御覽ノ通ニ僅ニ三條ヨリ成ッテ居ル、

極テ簡單ナル法律案デゴザイマス、而シテ其三條ノ中ニ最モ精神ノ籠ッテ居リマスト云フノガ、第一條一箇條ニ過ギナイ譯デゴザイマスカラ、諸君ニ於テモ最早十分ニ此案ニ就イテハ御考ノアルコト、私ハ考ヘテ居リマス、テ殆ド本案ニ對シマシテハ說明スルノ要ハナイト考ヘマスケレドモ、大體ノ說明ヲ致シマスレバ、此案ハ官ニ軍人ニ扶助スベキ所ノ範圍ヲ示シタ所ノ一ノ單行法律ニ過ギナイノデゴザイマス、而シテ之ヲ如何ナル區域ニ行フカ、軍人ト申シマスル中ノドレダケノ範圍ニ及ボスカト云フコトニ就キマシテハ、ちよつと一應ノ御說明ヲシナケレバナラヌト考ヘマス、軍人ノ中ニモ種々雜多アリマスガ、先ヅ茲ニ言ヒマスル所ノモノハ豫備役、後備役、下士、兵卒ノ是ニ屬シマス所ノ家族ヲ指スノデゴザイマス、而シテ何故ニ常備兵ト云フ者ヲ省イタカト云フニ就キマシテハ、是モ諸君モ既ニ御承知デゴザイマセウ、自ラ豫備兵役ト云フ者ト、豫備役後備役此二ツノ種類ノ兵役ニ就キマシテハ區別ノアルコトデアラウト考ヘルノデゴザイマス、常備兵役ハ御承知ノ如クニ徵兵ニ取ラレマスル時分ニ當ッテハ、徵兵令第二十條ニ依リマシテ、若シ實地ニ生活スルコトガ出來ナイ——其一人ガ取ラレマスタメニ、一家ガ生計ヲ失フト云フ場合ニ當リマシテハ、其確證ノアルトキニハ延期スルコトガ出來ルト云フ箇條ガ徵兵令ニ備ッテ居ルノデゴザイマス、故ニ常備兵ト云フ者ニ就イテハ先ヅ々々其家族ニ於テ生活ヲ失フ者ガナイト斯様ニ見テ宜イノデアアル、且ツ常備兵役ト云フ者ハ血稅ヲ納メマス所ノ先ヅ發端ニ當ッテ居ルノデアアル、其兵役ニアル限ハ未ダ血稅ヲ納メヌト言ッテモ宜イノデアアルカラ、其途中デゴザイマス、故ニ自然其常備兵役ニ當ッテ居リマス者ハ、自分自ラ一家ノ生計ヲ營ムニ當ッテ居ルト云フヤウナ者ハ極テ少イノデアアル、是ニ反シテ常備兵役ト云フ者ガ了ヘマシテ、豫備後備ト云フコトニナリマスト云フト、年モ相當ニ達シテ居リ、兵役モ一旦濟ムダト云フコトカラシテ、或ハ一家ノ生計ト云フモノヲ其時ニ當ッテ始テ心掛ケテ、生計ヲ立テテ、豫備後備ノ此二ツノ兵役トノ間ニ於テハ、大ニ區別ガアラウト斯様ニ考ヘルノデゴザイマス、從テ常備ノ方ニ於テハ其家族ニ於テ格別生計ニ差支ル者ト云フ者ハゴザイマセヌガ、一方ノ豫備後備ト云フ者ハ既ニ其人ガ一家ノ生計ヲ營ムト云フコトニナッテ居ルノニ、軍事ニ當ッテ——戰時ニ當ッテ徵收セラレテ、其生計ト云フモノヲ若クハ營業ト云フモノヲ省ルニ、違ナイト云フ場合ニナリマスカラシテ、其場合ニ於テハ常備兵役ノ家族ハ自ラ異ッテ隨分困ル者ガアラウ、斯様ナ目安ニ依ッテ常備兵役ト云フモノハ、此中カラ除キマシテ、豫備後備ノ此二ツニ屬シマス所ノ兵卒ノ家族ニ限ッテ、扶助ヲ行フト云フ譯デゴザイマス、而シテ其扶助ノ方法等ニ至リマシテハ、餘程細カナ考ヲ要シ、餘程細カナ規定ヲ要スルコトデゴザイマスガ、是等ハ一切舉ゲテ内務大臣ノ細則ニ定ムル所ニ任スト云フコトデゴザイマスカラシテ、斯様ニ申シマスト、別段ニ説明ヲスル程ノコトハナイノデアアル、私共ガ畢

竟此重大ノ案ヲ斯様ニ簡單ニ致シテ提出シマシタト云フ所ノ趣意ハ、畢竟細カナコトハ當局者ニ任セルト云フモノ一ノ理由デゴザイマスカラ、モウ一ツノ理由ハ斯様ナ問題ト云フモノハ、餘程周密ナ考ヲ要スルコトデアアル、ナカク、吾々素人ノ考デハ十分ニ參ラヌ譯デゴザイマスカラ、ドウカ大體ノ趣意ニ於テ諸君ノ贊成ヲ得マシタナラバ、其他ノコトニ至ツテハ成ルベク精密ナ審査ヲ遂ゲテ、而シテ之ヲ十分ナモノニ致サウト云フ其趣意カラシテ、一ニハ簡單ニ致シタ譯デゴザイマス、則チ其簡單ニ致シタト云フ趣意ハ成ルベク委員會ノ修正ノ餘地ヲ存スルタメニ、斯ク簡單ニ致シタ譯デゴザイマス、而シテ本案ヲ提出シマシタ所ノ其精神ニ至リマシテハ、聊カ一言シタイト思フノデゴザイマス(「簡單ニ」ト呼フ者アリ)斯様ナ案ヲ提出シマシタト云フコトハ、今日必要ガアルカト云フ疑ヲ懷カル、人モゴザイマセウト私ハ思ヒマスガ、一體世間ヲ見マシテモ、新聞上ヲ見テモ、其他ヲ見マシテモ、今日決シテ此軍人ノ家族ト云フ者ハ道路ニ困頓シテ居ル、泣叫ンデ居ル聲ガ巷ニ滿チテ居ルト云フコトハ、固ヨリナイノデゴザイマス、然ルニ斯様ナ案ヲ出スト云フノハ何デアアルカト云フ御疑モゴザイマセウガ、一體此軍人ノ家族ノ中ニ窮苦ヲ訴ヘル者ノナイト云フノハ、實ニ日本國民ノ愛國心ガ然ラシムルノデアアツテ、縱令斯様ナ者ガアリマシテモ、此戰時ニ當ツテ斯ノ如キ弱音ヲ出サネバコソ決シテ道路ニ困頓シテ居ルト云フ聲ヲ發シナイノデアアル、是ハ大ニ御互ニ日本國民トシテ誇ラナケレバナラナイ所デアアルガ、偕其實際ニ至ツテハ如何デアアルカト云フト、如何ニモ其本人ト云フ者ハ則チ軍人ノ家族トナツテ居リマス所ノ者ハ、縱令食フコトガ出來ナクテモ、水ナリ雪ヲ噛ムデ忍ブト云フ耐忍ガゴザイマセウガ、若シアツタナラバ之ヲ國家トシテ唯獸ヲテ居ルコトガ出來ルカト申シマスレバ、縱令一人斯様ナ者ガゴザイマシテモ、國家トシテ之ヲ默過シ去ルニ忍ビナイト思フノデアアル、而シテ斯様ナ者ヲ靜ニ尋ネテ見マスレバ、決シテナイデハナイノデゴザイマス、如何ニモ今日ハ吾々御同然ノ同胞ガ此義俠ノ心ニ依リマシテ、軍人ノ家族ノ窮シテ居ル者ハ一人トシテ助ケテ居ルガ故ニ、決シテ不自由ハゴザイマスマイケレドモ、全國ノ廣キ或ハ極テ貧村ガアリ、例ヘバ漁村ト云フヤウナモノガ、斯様ナ場合ニ於キマシテ、縱令助ケタイニモ随分助ケルコトガ出來ナイト云フヤウナ貧戶ガ疊々相竝ンデ居ルヤウナ所モ随分ナイデハナイノデアアル、或ハ又他所管ニ屬スル所ノ者、他管ニ屬スル者ガ或町村ニ住居致シマシテ、而シテ徵兵ニ取ラレタト云フヤウナ場合ニナリマスト云フト、其人ガ不幸ニシテ多クノ友人ヲ持タヌトカ、或ハ知合ヲ持タヌト云フヤウナ場合デアリマスト云フト、随分困ルト云フヤウナ例モ私共續々聞イテ居ルコトデゴザリマスガ、是等ノ者ニ對シテ是デ一人ガ爲スカラ宜イ、國家ト云フモノガ手ヲ著ケナイデモ宜イト云フコトニナリマシタナラバ、隨分是ハ殘酷ナ話ニナルデアアラウト斯様ニ考ヘルノデ、今日此一人ノ爲シテ居ルコト、若クハ此自治ト云フモノデナシテ居ルト云フコトハ、強チ惡ルイト云フノデハナ

イ、惡ルイト言ハナイノミナラズ、ドウカ自治政下ニ斯ノ如キ習慣ノ起ルコトヲ私ハ望ム譯デゴザリマスガ、併シ唯今申サユウナ随分ツレニ及バヌコトモアルト云フヤウナコトデアリマスト云フト、甚ダ氣ノ毒ナ譯デアアツテ、畢竟外ニ出テ居ル軍人杯モ人情ト致シテ縱令勇ンデ居リマシテモ、夢寐ノ間ニモ自分ノ親族家族ト云フモノガ、ドウモ窮シテ居ルガ、果シテ一家ノ生計ヲ甘ク立ツテ居ルコトカ、ドウカ、或ハ人ガ救フテ居ルコトガ出來ルカ否ヤト云フコトヲ考ヘマシタナラバ、如何ナル勇夫ト雖モ隨分腸ヲ斷ツノ想ガアルデゴザリマセウ、從ツテ吾々ノ出征ノ軍人ニ對シテ、其氣ヲ勵スタメニモ、何トカ此國家ト致シマシテ軍人ノ窮シテ居ル所ノ家族ト云フモノハ、扶助スルノ必要ガアルト斯様ニ考ヘマスノガ、則チ本案ヲ提出シタ所以デアアツテ、最早終ヘマスルガ、是デ私ハ最後ニ皆サンニ向ツテ望ムノデアアル、ツレハ何デアアルカト言ヘバ、ドウゾ先決問題トシテ委員ヲ御選ビ下サリマシテ、十分ニ之レヲ御審査下サルコトヲ望ムノデアアル、一體此事柄ト云フモノハ、極テ重大デ、隨分其金額ト云フモノモ多額ニ上ル譯デゴザリマス、併シ此案ト云フモノモ先刻申シマスル通り、決シテ十分ナル案トハ提出者自ラモ思ツテ居リマセヌ譯デゴザリマシテ、ドウカ一ツ委員ヲ御選定ニナリマシタ上デ、十分ノ御審査アラシコトヲ希望シマス

○中野廣太郎君(二百九十八番) ちよつと提出者ニ御尋致シマスガ、如何ニモ此法案ハ或ル方カラ見マスレバ最モ美ナル法案ノヤウニ考ヘマスガ、此理由書ニ依リマス甚ダ遺憾トスル所ガアリマス、理由書ニ「豫備役後備役ハ既ニ常備ヲ竟ヘ一家ノ産ヲ立ツルモノナルカ故ニ一朝召集ノ令ニ會シ之等家族出役者ノタメニ生産ノ主力ヲ失ヒ一家ノ活路ヲ失スルモノアルハ歷々各町村ニ於テ見聞スル所ナリ而シテ町村カ之カ扶助ヲ爲スモノナキニアラサルモ以テ全キヲ保スヘカラス此際國トシテ之ヲ扶助スルヲ相當ナリトス」ト此理由書ヲ見マスレバ、町村カラ其家族ニ向ツテ扶助ヲ爲シテ居ルケレドモ十分デナイ、ナカク十分ニ善クシテナイト云フ御意見ノヤウニ見エマスガ、サウ聽取ツテ宜ウゴザイマスカ

○市島謙吉君(十九番) 其御質問ハ暫ク措キマシテ、ちよつと其前ニ御注意申シマスガ、是ガ成立ツコトナラバ、ドウカ斯様ナ質問ハ委員會ニ於テ致シタイト考ヘルノデゴザリマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ又「委員說贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 委員說ハ贊成ガアルカラ、先決問題トシテ決ヲ採リマスガ、是ハ多數ノ通告ガゴザリマスニ依ツテ正則ニ決議ヲ採リマス、市島君ノ動議、議長指名ノ委員九名ニ付託スベシト云フ、右ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數、委員ヲ設クルコトニ決シマス、指名デ以テ選ビマス、明後二十八日ノ議事日程ヲ報ジマスル

(水野書記官朗讀)

議事日程 第十九號 明治二十八年一月二十八日(月曜日)

午後一時開議

第一 營業滿期國立銀行處分法案
(政府提出)

第一讀會ノ續(特別委員
長報告)

第二 國立銀行紙幣ノ通用及引換期
限ニ關スル法案(政府提出)

第一讀會ノ續(特別委員
長報告)

第三 明治二十三年法律第二十五號
中追加法案(政府提出)

第一讀會ノ續(特別委員
長報告)

第四 國立銀行條例中改正法案

第一讀會ノ續(特別委員
長報告)

○議長(楠本正隆君) 是ニテ散會ヲ報シマス
午後四時三十六分散會

衆議院議事速記録第十七號正誤

頁 段 行 誤 正
二四六 上 七 鎮守府 鎮守府
二四六 上 一〇 副議長ニ任
セラレシメテ
字ヲ削ル